新京日日新聞
夕刊
十二月二十七日
本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 ／ 郵税 一ヶ月 ／ 廣告料金 普通一行 特別一行
發行所 新京永樂町 新京日日新聞社
電話 編輯部專用 營業部專用
發行人 十河[illegible]
編輯人 松本[illegible]
印刷人 [illegible]

政府彈劾上奏案の年內上程を見合はす

國體明徴派の申出を政友幹部考慮

黨內にも反對意見あり

【東京國通】政友會の國體明徴派は廿六日突如として國體明徴に關する政府彈劾上奏案を廿七日の衆議院本會議に緊急上程せんとしてその旨黨幹部に申出たので同問題の取扱ひを審議するため政友會では廿六日午後十一時院內外總務會を開き島田、中島、前田其の他各總務、松野幹事長等出席、先づ生田總務から國體明徴派の意向を述べてこれを中心に協議を進めたが、總務の多數の意見は年內押しつまつて斯くの如き重大問題を突如議會に緊急上程することは不穩當であり更に又明徴問題の政治的取扱ひに對しては黨內に反對の意向を有してゐるものもあるので愼重に考究した後休會中の幹部會で態度を決定すべきである と言ふに意見一致、取敢えず右は廿七日の議場に於ては問題としない事に決定、廿七日午前零時半散會した

久原、岡崎長老 鈴木總裁を訪問 對議會策に就き協議

【東京國通】政友會の久原、岡崎兩長老は二十六日午後七時半鈴木總裁を訪問國體明徴問題を始め現內閣一般の施政に對する不信任案を提出することによつて積極的に議會解散を誘致すべきや否やの最高方針につき協議すると共に總選擧に臨むには飽迄も選擧第一主義で進み絕對多數を獲得すべく萬全の策を講ずる必要ある旨を力說し更に選擧委員の詮衡方法につき意見を交換したが、鈴木總裁と久原、岡崎兩長老との意見には尚可成りの間隔あり遂に意見の一致を見るに至らず午後八時廿分會見を終つた

衆議院奉答文 滿場一致可決

【東京國通】衆議院開院式後午前十一時廿八分勅語奉答文議事のため本會議を開催、議員一同滿洲事件行賞の際拜受した勳章を佩びて整然入場、先づ濱田議長が奉答文議事開始を宣し起草委員として熊谷直太、松山常次郎、鈴木英雄、蔭山貞吉、八角三郎、山下谷次、鈴木義隆、向井倭雄、仁田大八郎、村田虎之助（以上政友）橫山金太郎、木村小左衛門、井上剛一、山本厚三、重松重治（以上民政）、安部磯雄（無所屬）、佐藤啓（國同）、瀧正雄（昭和會）の十八名を指名同三十分一旦休憩次で各委員は奉答文を起草、十一時五十二分本會議を再開總員起立裡に滿場一致これを可決、濱田議長は奉答文は宮中の御都合を伺つて後捧呈する旨述べ午後一時五分休會した

奉答文捧呈

【東京國通】近衛貴族院議長は濱田衆議院議長と打揃つて參內、宮中鳳凰間で 天皇陛下に拜謁仰付けられ恭しく廿六日の開院式に賜つた勅語に對する奉答文をそれぞれ捧讀之を捧呈したるところ 陛下には之を御嘉納あらせられ優渥なる勅語を賜ひ入御遊ばされた、かくて兩院議長は光榮に感激して宮中を退下した

齋藤子內府入り

內閣並に樞相進退に重大影響あらん

【東京國通】齋藤子の內府入りは重臣ブロック陣營內に於る同氏の存在を一層偉大且つ明瞭にしたものだけに今後の政局に對する影響は最も重要視されてゐる所であるが、齋藤子が現內閣の產婆役を勤めたゞけに現內閣に對する重臣方面の支持は之によつて一層强化されたものと見らるべきであらう、殊に齋藤子に課せられた責任は一木樞相問題の解決であり、國體明徴問題の渦中に處して一木樞相の進退問題を解消せしめ政界上層部の安定强化を圖る事だ、齋藤子は一木樞相奏請の責任者であり、且つ國體明徴運動に對しても從來より一貫一木樞相の辭任の理由なしとの見解を堅持して來てゐるので當然今後共この方針を强行すると見られるので、結局問題は齋藤子が岡田首相と協力し樞府部內、軍部並に政友會等の一部に行はれてゐる樞相更迭論を如何にして解消させ樞府の安定を全ふし得るかにかゝつてゐると言ふべきであらう

齋藤子

牧野伯昇爵か

多年の偉勳により

牧野伯

【東京國通】內大臣を辭任した牧野伸顯伯の大正十四年以來前後十一ヶ年に亘る內大臣としての功績に對する行賞方法に就ては目下湯淺宮相の下で考究されてゐるが、既に旭日桐花大綬章を下授されてゐるので結局多年の偉勳により侯爵に昇爵の御命を拜すべく功績書の作成その他に相當の時日を要するので何れにしても年內には間に合はず明春御沙汰を拜する模樣である

內大臣更迭と貴院方面の觀測

【東京國通】內大臣の更迭は廿六日突如決定の上發表を見齋藤實子が新に內大臣に親任せられたが右に就て貴族院並に政界の一部には其政治的影響に就て左の如き觀測を下し一木樞相並に金森法制局長官辭任の前提工作であるとして重視してゐる即ち

一木樞相の辭任は同氏の健康が勝れない上に機關說問題で軍部並に政友會方面よりの非難の的となつて居るため本人も辭意を表明して居り更に重臣方面では機關說問題が政治問題化する事を極力阻止したき意向を有して適當の機會に樞相更迭を行ふべきものと見て居るため岡田首相始め齋藤、牧野氏等重臣間では其時期を狙つて居た譯であるが樞相更迭の如き重大人事を突如として行ふ事は一木男に傷をつける事となり又重臣の政界に及ぼしてゐる重壓を減ずる結果となるので先づ持病に惱む牧野內府の後任として齋藤子を推した後徐ろに樞相の更迭を行はんとするものである、從つて一木樞相の辭任及び之に伴ひ當然行はるべく豫想される金森法制局長官の更迭は近く行はるべきものであり從來樞相更迭を阻止して居たのは後任難の結果であるが齋藤子が內府入をした以上例へ平沼副議長を昇格しても重臣の勢力にさしたる影響も與へないから最早右障害は除かれるに至つたとして居る、即ち右の如き情勢にある以上樞相更迭の時期は意外に早く議會休會明け前一月二十日頃迄に行はれるであらう

牧野伯談

【東京國通】牧野伯は秘書官を通じて辭任の心境を左の如く語る

病氣靜養の爲め骸骨を乞ひ奉つたところ今回勅許を得て有難い恩命を拜し感激に堪えない

唐氏暗殺は國民黨部の陋策

背後に蠢めく歐米派

【東京國通】鐵道部次長唐有壬遭難の公電は廿六日午後到着したが、右によれば兇漢三名が學生なる事明かなので外務省ではその成行きを重視してゐる、即ち國民黨部は蔣介石氏が行政院の改組に於て孔祥熙氏等を重視して黨部無視の態度に出たのを不平とし之に非難を浴せてゐるが、之等を綜合して今回の兇變は今回の學生運動が唐有壬氏を射殺して蔣介石氏を窮地に陷れんとする黨部一派の策動だらうと觀てゐる

特に今回の學生運動に英米系のミッションスクールが表面に立つて活動してゐる事は國民黨部の裏面に有力に動く國際關係ある證左で蔣介石氏が之等運動に積極的の取締りをしないのを不滿として居り何等かの措置をとらざれば日支關係は惡化するも已むを得ないとしてゐる

在外公館定員令一部改正

【東京國通】廿六日勅令を以て在外公館職員定員令中改正の件（書記官、通譯官以下定員增加）並に在外公館費用條令中改正の件を公布明年一月一日より實施されるが右はエヂプト及びエチオピアに公使館開設に伴ふ改正である

土肥原少將を迎へ

關東軍首腦部會議

將來の北支對策等協議

來京の土肥原少將は本日午前七時來京同十時軍司令部第二會議室に於て同少將の北支問題經過報告を中心とする重要會議が開催された、會議には板垣參謀副長、坂西第一、河邊第二、永津第三各課長、佐々木軍政部最高顧問、專田參謀等出席、先づ土肥原少將より冀察政務委員會成立に至る迄の詳細なる經過報告あり冀察政務委員會に對する見透し將來の北支對策に就て重要會議が行はれた

滿洲國ブレーントラスト全貌【D】

越年・緊張の空氣あり

政務調査委員會設置か？

山口慎（二）

歲末多事、自動車の中で本稿を走り書したりして、前回までの中に誤記と誤植とを見出した、すなはち次の如く訂正する

×　×

統計處の向井さんむろん、向井俊郎さんである、それから山田弘之さんである、なほ昨日の「ちんどん屋を云々」とあるは「ちんどん屋と」の、又、「詳しくは又本年」は「來年」の誤植

×　×

いま、午前三時半だ、記者はふと東京の政界のことを考へてみた、長岡さんは貴族院議員である。『文藝春秋』新年號が昨日來たが、久し振りに御手洗隱士「軍部の潮流異變」てのを書いてゐる。曰く「虎は爪を棄て、羊に牙が生えた程の變化が起つた」（六二頁）所で頁を繰つて「北支・軍部・外交座談會」つてのを見ると「荒木眞崎派が最近非常な勢を挽回した」と書いてある、……いやジャーナリズム批判こそ來年に廻して、滿洲國のブレーン・トラストを續つて微かに、しかし見方によつては淸々と推し進められつゝある滿洲國政界の動きを觀測しよう……

×　×

記者の見る所では、長岡は親しく慰撫されて、決然覺悟をきめたのだ、天文學者たる令孃の結婚もあつたらう、日本の議會も見たかつたらう、しかし彼とて公人だ、今の場合當然に、滿洲國政府の長官として「おれだつて後藤位の仕事は……」と考へたらうぢやないか、で、こゝに豫想されるのが、滿洲國政務機構改革のための、政務調査委員會の設置だ、しかもそれは長岡の歸滿を俟つて早急に實現されるであらう

×　×

思へば柳條溝の砲聲は大きく響いたものだ、そして日系官吏といふ特殊な人間群が巨大な組織の中に、隆々として榮え或ひは沒落し、或ひは開店休業をやり、等々して來たのだ、働くものは働いて來た、考へるものは考へた、そしてそれらの眞摯な滿洲國官吏の冷徹せる自己批判、將來の建設を思ふての工作、その成果それこそが近く出現すべき政調委に外ならぬ……

×　×

そこには、企劃處を中心に、恐らくは關東軍よりも參加した、多くの委員が任命されるであらう、こゝで滿洲國國政のあらゆる問題が調査され、審議され計畫されそして統制されるであらう、統制流行の當世である、これはシヤレぢやない、日系官吏諸君用意はいいか？である、各部改廢、人件費節減、惡玉討伐、人材登用、……つまりは滿洲國國政の機構改革である、その統制强化である、行政運轉の合理化である、……そしてその動向を貫くものをわれは「總務廳中心主義」と呼ぶのだ、そのエンヂンたるブレーン・トラストはすでに唸りを發しはじめたのだ……（完）

中銀利下げ

滿洲中央銀行では世界的低金利傾向に順應し創立以來二回にわたつて預金利率の引下げを行つて來たが今回更に國幣定期預金の現行利率六ヶ月年五分を年四分五厘に一ヶ年年六分を年五分に引下げる事に決定し、二十七日附を以つて發表來年一月一日より實施することゝ發表した、今次の利率引下げは同行の漸進的利率引下げ方針によつたものであるが、國內通貨統制に關する中銀、鮮銀の業務協定の實施を促進する意味をも含まれてゐるものであり、通貨政策の圓滑化が期待されるに至つた、なほ新京、奉天、ハルビン、安東、營口の六都市に限り六ヶ月、一ヶ年共同率の四分五厘に引下げ、當座、特別當座、通知各預金は從前通りである

伊政府の奉天總領事館開設は虛報

イタリー政府は滿洲國の驚異的發展を確認して曾て閉鎖してあつた奉天總領事館を再開するに決した旨及びハルビン白耳義領事館の奉天移轉も決定した旨新聞紙上に報道されてゐるが、外交部に於てはイタリーよりも亦ベルギーよりも何等通知に接してゐない趣で、當局に於ては彼等が勝手に領事館と稱するものを開設するが如きは之を認める限りでないのみならず過般ハルビンに於て「リスアニア」領事と稱するものゝ詐欺事件もあつた事とて嚴重に取締る必要があるとの見解を漏してゐる

同志十名を引率れ來京の中野氏

滯京中日滿各要人と會見

さきに國民同盟を脫退しその主宰する東方會に據り、獨自々由の立場に立つて新たな政治運動に着手することになつた中野正剛氏はけふ七日午後九時來京の豫定だが、一行は中野氏のほかに松森孝次郎、小島精一、由谷義治、杉浦前拓務參與官ほか六名で、滯京後の日程は左の通りである

二十七日　午後九時着ヤマトホテル、名古屋ホテル投宿

二十八日　午前十時滿洲國總理に會見、午後一時軍司令官訪問會談、午後二時正副參謀長訪問會談、午後六時丁實業部大臣招宴（丁公館）

二十九日　午前中日滿要人訪問、正午大橋外交部次長招宴（中銀クラブ）外交、財政、軍關係者と懇談、午後六時軍司令官招宴（官邸）午後八時坂垣參謀副長招宴懇談

三十日　午前各方面訪問視察正午中央銀行招宴（中銀クラブ）午後三時頃より有志座談會（同上）夜有志懇談

かくて三十一日午後二時發あじあにて離京、大連に向ひ振東社に投宿迎春、二日北支に向け離連の豫定である

小畑參謀離承新任地へ

【承德國通】川岸本部隊附參謀小畑少佐はこの度の陸軍定期異動に依り陸軍大學校兵學教官に榮轉、廿五日午前五十分離承した同參謀は昨年十一月馬淵參謀の後任として着任以來、察哈爾、非戰區等に於て同支兩國間の複雜せる時局に處して赫々たる功績を殘した人である、小畑參謀の後任として天津駐屯軍附鈴木康步兵少佐が廿四日正午來承着任の筈である

西田、星兩少佐本社へ來訪

新京憲兵隊本部副官から安東憲兵分隊長に榮轉の西田豫三少佐、同新市街憲兵分隊長星實敏少佐は公主嶺分隊長兼任を命ぜられたので二十七日挨拶に本社來訪

新京市公署に於る冬期救濟事業

曩に監察院長の貧民救濟金二〇〇〇圓を始めとして各方面より續々貧民救濟金の寄附申出あり、本市は之が救濟金を最も有意義に分配せんと廿五日午後一時より市長室に於て總務處長、行政處長其の他關係者並に隣保委員社會事業團體代表參集の上協議し、左記の方針を採る事となり、之が準備に忙殺されてゐる、又曩に市內各社會事業團體が資金を分擔し綿衣一、三〇〇着を市內貧民に分配し、食なき者は市內六ヶ所の施粥場に於て兎に角糊口を凌ぎ居るも、この酷寒に燃料なく中には凍死する者もあるに鑑み、取り敢へず燃料として高粱柴を購入すると共に新京監獄より「ノコギリクヅ」の寄附を受け各隣保委員を通じて市內窮民に分配することゝなつた、その後の寄附受付は左の通りである

一、新京ロータリー倶樂部廿六圓

一、大信洋行工事部に勤務されてゐる今坂德次郎氏より金五十圓

一、新京地方事務所、滿洲社會事業協會（附屬地）主催の歲末同情週間醵集金の中より本市內窮民救濟金の一部に充當される樣金五十圓の寄附の申出あり

交通會社重役會

新京交通會社では二十八日午後一時から同社內で重役會を開き本期業績、來年度新計畫などを附議するはず

田中交通監督部長視察

田中交通監督部長は村治中佐帶同、廿九日午前七時新京發四平街、西安、梅河口方面の交通情況視察の爲出發、卅一日午後五時半歸京の豫定である

人事往來

▲櫂泰眞氏（滿鐵社員）二十六日午前來京國都ホテル
▲鮫島桃平氏（三菱商事）同午後來京同
▲山本孝太郎氏（西安炭坑）同
▲宇田修氏（康德染色公司）同
▲淸水行之助氏（延和金鑛公司）同
▲井上鐵作氏（藥劑師）同
▲中西勇吉氏（石炭商）同午前大連へ
▲桑原榮男氏（細川組）同奉天へ
▲井上喬之氏（天津）同天津へ
▲坂出昌彥氏（吳服商）同午後內地へ
▲菅野定俊氏（土木請負業）同ハルビンへ
▲安達右太郎氏（無職）同午前奉天へ
▲里見甫氏（滿洲國通信社主幹）同
▲濱田芳彥氏（熱河省赤峰縣參事官）同熱河へ
▲野村庄太郎氏（日本赤十字社北滿洲本部主事）二十六日午後來京ヤマトホテル
▲宗像金吾氏（哈市成發東主）同
▲神守源一郎氏（滿鐵地方部庶務課長）同
▲鈴木實造氏（撫順セメント會社）同
▲山崎柱一氏（官吏）同
▲折田有信氏（滿鐵社員）同
▲木谷吉彌氏（ハルビン自動車業）二十六日午後來京名古屋ホテル
▲下山多次郎氏（滿鐵社員）同
▲長野武弘氏（官吏）同
▲熙洽氏（宮內府大臣）二十六日午後歸京
▲葆康氏（奉天省長）同
▲土肥原少將（奉天特務機關長）二十七日午前來京

今朝東公園内に朝鮮青年慘殺死体
鈍器で一撃を加へられて 二た目と見られぬ慘狀

歳の瀨も押し迫つた二十七日新京附屬地のメーンストリート日本橋通新京百貨店前東公園内にて朝鮮人の青年が鈍器樣のもので顔面を打ち碎かれた慘殺死體があつた―二十七日午前十時頃新京附屬地日本橋通東公園に朝鮮人青年の慘死體あるを通行人が

發見 しそれと日本橋通派出所に届け出で本署では時を移さず飛田司法主任、池田刑事部長、外刑事の一隊が自動車で現場に急行したが慘死體は東公園内日本橋通入口から坂を上つて約十間位の場所に頭を東南に向け顔面は鈍器樣のもので一撃を加へられ二た目と見られぬ慘狀を呈して打ち倒れてゐた、推定年齡二十五歳位、丸顔で、着衣は下にメリヤスシヤツとズボン下二枚づゝ重ねてはき、その上に黑色コール天のズボンをはき、上衣は黑のセーターに黑色コール天の詰襟服を着し、更に其の上から白の上下續きの作業服を着用し、黑の短靴を穿き、片方は約三尺位離れて脱ぎすてられており、足もとには茶褐色裏に兎の毛付の防寒帽が鮮血にまみれて轉がつており、不可思議なことにはこれだけの重傷をおひながら附近の樣子はさらに格闘の形跡なく、上下續きの上衣が千切れてゐるところから見ていづれかにて

格闘 慘殺されこゝまで運び投げ捨てられたものと推定される

田中商會の話

慘殺された蔡の雇はれ先たる田中商會では次の如く語る

本籍はよく判らぬが朝鮮人の蔡某と云ひ約三ヶ月前現場と店の間の連絡やボーイとして雇つたもので給料は月四十圓づゝ拂つてゐた、家は他に持つて通ひになつてゐるので内部の事情はさつぱり解らぬが、昨夜仕事を終へて歸つたまゝ今日はまだ店へ出て來ないので不思議に思つてゐた、交際關係方面も私の方では少しも解らない

身元漸く判明 犯人捜査に大活動

死體の身元につき八方手をつくして調査の結果懐中してゐた封筒により市内梅ヶ枝町四丁目煖房商田中商會使用朝鮮人蔡某（二五）と判明死體は警察醫の檢視によれば死後約八時間位を經過してゐるものと見られてゐる身元判明と共に新京署刑事は八方に飛び犯人捜走に當つてゐるが金錢上から仲間同志との喧嘩の結果か痴情關係からか捜査は相當苦心を要するものと見られてゐる

死体を解剖

慘死體發見と共に新京領事館檢事々務下田警部は細密にわたつて實地檢證を行ひ死體は滿鐵醫院にて解剖に附すことゝなつた

海外ニユース

寫眞はアメリカ陸軍の優秀機カーチスA一二式攻撃機が爆彈を投下した瞬間のもので同機は全金屬、低翼、複座、七百馬力のエンヂンで時速三百哩機銃五台を有して居る

火事で焼けたとて 需用處拂はず
請負、出入商人四苦八苦

二十五日滿洲國需用處出火の際用度科に保存してゐた書類が丸焼けとなつたため一年の總決算たる歳の瀨を控へて請負關係及び出入商人は下金がないため四苦八苦してゐる模樣であるが請負及商人としては火事による事故は致方ないとしても過失は役所の方にあるのだから充分同情して年末の休日も一日や二日位延はしても出來得る限りの便宜を圖つて貰ひたいもの だ、又そうすることが當然ではなからうかと云つてゐるがこれは一理ある問題で此の際當局の同情ある處置が望まれてゐる

地方事務所の御用納め

新京地方事務所では二十八日午前十時所長室に所員一同集合年末に際して武田所長の訓示を受け、二十九日は日曜で休み三十日は本年最後の顔合せをなし殘務整理、一月三日まで休業して四日御用始めの豫定である

滿洲國政府 あす御用納

滿洲國政府では二十八日を以て本年度の御用納めとする

故佐藤氏遺骨 けふ郷里へ

國務院總務廳秘書科長故佐藤正一氏の遺骨はキワ子未亡人に護られ二十七日午前九時、郷里茨木へ向け出發したが當日は故人の知友その他見送りの人々で驛頭は埋つた

鳥居博士夫妻歸國

【大連國通】滿洲及び北支の契丹文化研究の爲め一月の視察旅行を終へた鳥居博士夫妻は廿六日午前十時出帆の熱河丸で歸京の途に就いたが氏は左の如く語る

滿洲では醫巫閭山の東丹王の墓、鞍山の奥隆岩洲の契丹時代の墓等を調査し、北支では北平を中心として研究したのであるが、殷汝耕氏の好意によつて非常に便宜を受けた、河北省では遼の南京調査の爲め土城やその内部に殘存する遺物、遺跡を調べて來た何れ來年の秋にまたやつて來て、もつと詳しく調査する心算である

因みに同伴して來た令息は北平の人文研究所で三ヶ年程研究の上その結果を纏めて上梓する筈である

初詣で客の爲 元旦のバス運轉
晦日も二日間時間を延長

慌しい歳の瀨から年始へかけて新京交通會社では市内バスの運轉時間を延長し乘客の輸送に大馬力をかけることになつた、初參拜者を始め一般市民に取つては大いに惠まれるであらうその大要は次の通り

△一月元旦早朝運轉

▲二號線午前四時四十分より新京驛、同治街、金輝路間を運轉す新京驛發午前四時四十分金輝路發午前五時、二十分置き

▲三號線午前四時四十分より新京驛、白菊町、順治路間を運轉す新京驛發午前四時四十分、順治路發午前五時、四十分置き

▲四號線新京驛發午前四時四十五分、衛戍病院發午前五時、三十分置き

▲五號線新京驛發午前四時四十五分、寛城子發午前五時三十分置き

▲六號線新京驛發午前四時三十分より南嶺五時、一時間置き

△三十日、三十一日

▲二號線新京驛前發午後十二時まで十分おき長慶街發十二時二十分まで十分置き

▲三號線新京驛發午後十二時二十五分まで四十分置き順治路十二時四十五分まで四十分置き午後十二時二十五分まで四十分置き

▲四號線新京驛發午後十一時より十二時十五分まで三十分置き

▲五號線新京驛發午後十一時より午後十二時まで三十分置き

▲六號線新京驛發十二時まで南嶺發十二時三十分

觀象臺職員增員

氣象觀測の完璧を期する爲曩に接收せる舊ハルビン氣象觀測所を新に地方觀象臺として復活せしめ更に又陣容貧弱なる赤峰地方觀象臺及興安觀象所の擴充を計る爲中央觀象臺官制を改正し職員を增員することにした

呉清源の實兄 昨日結婚

日本圍棋界の異才青年棋客、日本棋院所屬呉清源君の令兄で現宮内府事務官兼繙譯官呉浣（廿六）君は兼ねて婚約の間柄であつた林溥孃と廿六日目出度華燭の典を擧げ、宮内府其他の關係者及び知友等を大陸春に招き盛大なる披露宴を張つたが呉君は曾て早稻田大學、明治大學等に學んだこともあり前途有望なる青年官吏として各方面よりその將來を囑望されてゐる、尚は同君は清源君に劣らぬ棋達者で在學中は帝都各大學圍棋倶樂部の花形であつた

關東軍記者クラブ忘年會

關東軍記者クラブでは昨廿六日午後六時半より八千代で忘年會を開いたが西尾參謀長を始め參謀部各課長及特別會員普通會員四十余名の出席を得て盛大なる宴を張つた

白衣の勇士凱旋

北滿方面にて活躍した白衣の勇士卅三名は廿七日午前七時卅五分ハルビンより着京、同日午後十時新京發にて九名の勇士と共に途中奉天より廿八名、遼陽より一名、海城より十一名同車の上大連より各原隊に歸還の豫定である

一時押合つた 興行物が激減
公會堂の使用調べ

新京記念公會堂は昨年十二月二十五日開館式をあげ、本年一月一日から使用を開始したが、いま一ヶ年間の業績を顧みると講堂の使用數は

一月四九回▲二月四七回▲三月四四回▲四月三九回▲五月三八回▲六月三九回▲七月二一回▲八月一八回▲九月三二回▲十月二九回▲十一月三六回▲十二月二〇回

計四百十二回で一、二、三月は開館當初興行物特に映畫の使用殺到した結果使用回數は隨分多かつたが夏枯れ時期に入つて激減した、使用の種類から見ると映畫が斷然多く百廿四回、演劇五十五回、浪曲卅九回、講演廿四回の順序で公共目的が二、三、準公共一七强、一般六、〇弱といふ比例であるが、映畫の最高は一時的現象で、現在では稀に公共目的の無料映寫があるのほかは殆ど跡を絶つた形である

なほ公會堂の使用延人員は一ヶ月平均二萬六千八百三十五名、一ヶ年を通じて凡そ三十二萬二千名と推定されるも、明年は豐樂劇場、帝キネ、演藝館等の開館と映畫の利用跡を絶つた結果は本年より半減するものと見られ、從つて從來興行物のために公共目的のものが妨げらるゝ如き弊害は減少するであらう

あす（廿八日）

大川操▲七、二〇義太夫双蝶々曲輪日記（東京）彈語り竹本小仙▲八、〇〇連續ラヂオ小説歌行燈（二）喜多村緑郎

△日滿各官廳その他御用納め

△各小學校冬期休暇に入る

仙人掌

ゆふべは四つのホールを廻つて見た、何處も滿員だつた、附屬地の古いホールも案ずることは無かつた、要は内容實質なのだ、すぐれたダンサー良い音樂、そしてサアヴイス振り、それが眼目なのだ▲キヤピタルではけふは晝間を休み、三味線入りで餅搗きをやる由▲「おらんだ茶房」「白十字」「ミユジツク」等々新しい店が出來てゆく、舊い店はまた一層の努力が必要となつて來た▲「搖籃」であの近所のお役所のOさん、プレゼントの櫛と鏡を貰つてそれから誰やらに思ひ出したやうに手紙書いてたが……▲そのかみ曙の千松扇芳會館で踊りつゝ曰く「まだ脚が疲れるわよ」

今晩の主なる放送番組

▲七、〇〇ジヤズ大川フアンニー・シツクスーバンド指揮

天氣と氣温

明日の天氣 南の風曇雪模樣

日の出 午前七時十三分

日の入 午後四時七分

月の出 午前八時五十四分

月の入 午後七時二分

けふの氣温 最高一度 最低零下十一度五

官吏消費組合生れて けふで丸一年
一日の賣上平均三千五百圓 全員汗みどろの活躍

層惡氣嫌の抜けない今年の松の内から、全滿の商店街を反消の嵐の内に捲き込んだ官消の誕生は去年の十二月廿七日であつた。それが五月十九日の新京協定の

成立 によつて反消運動も表面的には一段落を告げた、その後齊々哈爾、哈爾濱、承德、最近では吉林にも獨自の官消が結成されて地方的問題が再燃するかに見えたが、過去一ヶ年の經驗を以てすれば、官消の結成は妨げ得ない實證を把んだ一般の興味も今日ではその是非の理論ではなく、双方の實力と實力の角逐に繼がれて居るやうだ。兎に角問題の官消も今後の滿洲の經濟界に於ける一單位になつた、官消が伸びるか、商店側が榮へるか

歳末 が迫つてから双方とも必死だ、官消今月の賣上二十一萬圓の見込は確實との報告もある、去年迄はそれ丈ゴツソリ商店側の懐にとび込んで來たのだから、商店側の打撃は何としても大きい、だが組合の仕入が現地購入主義によつて居るので、滿洲七割、内地三割、其滿洲七割の内で新京は更に七割と云ふ見當なので廿一萬圓の賣上の四割と云ふものは新京商人の懐に戻る勘定である、一週年を迎へる官消の本據、興安大路の中央配給所を訪ねると、愈々押し迫つた買出しに入口は馬車と洋車とで

一杯 だ、各賣場もよく一年でこれ丈充實したかと驚ろかされる、全體から受ける感じは場所が狹いと思はれる程洪溢した内容の豐富さだ、實用的吳服洋品の流行の粹を集めた品揃。世帶道具の目立つた格安さ特に組合自慢の菓子工場の製品は人の目を惹いて居る

主任に會つて聞くと、こゝ丈の賣上が今月に入つて一日平均三千五百圓とのこと、この他今新京内に十一個所の分配所を持ち、そこからは、組合員の家庭を外勤者が御用伺ひに出で、零下十餘度の街頭に配給を終るのが九時十時になることも稀しくはないと云ふ活躍振である

敷地 を手に入れ事務室と倉庫は十一月中に完成して居るが、本年解氷と同時に工事に着手して秋迄には、三百坪三階建の本館が出來上る由で、本館出現の曉には官消は愈新京の名物とならう

經驗が收穫 岩田幹事長語る

記念日を迎へて岩田幹事長は次の如く語つた

お蔭樣で組合の基礎は確立致しました、何分素人の集りで唯やらねばならぬと云ふ意氣丈でやつて大過なく過ごして來ましたが一年の試練によつて仕入に就ても配給その他に就きましても改善せねばならぬものを充分感じて居ります、一週年を迎へましても今年はお祭騷ぎをよして組合内で一同揃つて來る可き活躍に備へる決意を堅める丈に止めておきたいと思つて居ります、何と云つてもこの一年の經驗が組合にとりましては力強い全收穫でした、來年の計畫ですか、正月號から初めた雜誌の定價實も文化運動の一端として當然組合のやる可きことをやつた丈であります、唯組合運動を愈々本格的に實行する迄であります、尚現地の商人諸君も次第に組合を理解されて務めて組合に接近して來られた事は喜ばしいことだと思つて居ります

廿八、九兩日の"ひかり" 全部豫約濟み
休暇利用の内地歸省の客で

年末年始休暇利用の内地歸省旅客が押し寄せ昨今の新京驛ビユーローの窓口には乘車券求め、時間、運賃問合せで雜沓してゐるが二十八、二十九兩日午前七時發釜山ゆき"ひかり"の如きはいづれも豫約濟みで超滿員である

演藝

「豐樂」の歳末興行に 本紙讀者 半額で優待 二十七日より三十日まで

新市街に君臨、新京興行界の王座を誇る豐樂劇場は開館以來近代的諸設備の粹を集めた絶好の映畫大劇場として、パラマウント、フォックス、P・C・L等の和洋新作品を連續的に封切り堂々滿都の人氣をさらつてゐるが本社では同劇場二十七日より三十日までの歳末興行に優待半額券を發行して本紙愛讀者の奉仕にかへることになつた、上映々畫は左の如くパラウント特作日本語版「生命の雜沓」とフォックス特作日本版「世界は動く」の二本立に漫畫、ニュースを加へた本年掉尾の豪華編成である

▽「生命の雜沓」は「絢爛たる殺人」のミチエル・ライゼンの監督する作品で、劇場とその樂屋裏を舞台にして起る幾組もの男女の四時間內における奇しき運命の變遷を描いたもので、リチヤード・バーセルメスが脱獄死刑囚に扮して活躍するの外ガートルド・マイケル、ヘレン・マック、ジョン・モーリス等が助演する、日本語版であるから洋畫に喰ひつき難い人達にも喜ばれるものがあらう、又日本語版是非問題のやかましい折から一般映畫ファンにも檢討すべき課題を提供するものがあらう

▽「世界は動く」は巨匠ジョン・フォード監督が畢生の心血をそゝいだ十一巻に亘るフォックス社の大作である日進月歩文明興隆の基調をなす資本主義の興亡一世紀百年に亘る大主題がフォード監督の颯爽たる描法に捌かれて、しかも全篇を貫く一つのラブ・ローマンスが大衆娛樂映畫としての興味を盛り上げてゐるなど、蓋し文字通り本年新京映畫界に贈られる掉尾の快作であらう、主演者フランチョット・トーンは「ベンガルの槍騎兵」等でお馴染みの人であり、マデリン・キヤロルのコンビに素晴しい持味が發揮されてゐるといふ

普通入場料は階下七十錢、階上一圓であるが、本紙愛讀者は本欄刷込みの半額券を利用されたい

帝都キネマの第二週プロ

帝都キネマ開館第二週二十七日よりの上映プロは左の通りである

△新興現代「女流探訪記者」霧立のぼると河津清三郎の主演する探偵映畫で、水谷準の原作を上島量が脚色し久松靜兒が監督作品したサウンド版、霧立のぼるの婦人記者の活躍が見ものであらう

△寛壽郎プロ「鞍馬天狗江戸日記」寛壽郎十八番、大佛次郎原作小說の映畫化で江戸に乘り込んだ天狗の活躍が興味を呼ぶ、監督は山本松男、助演者は嵐徳三郎、松本田三郎、大久保清子等

△メトロ「キートンの麥酒王」

寫眞 パ社日本語版「生命の雜沓」におけるリチヤード・バーセルメスの死刑囚マーゴ、二十七日より豐樂劇場上映中、紹介別項參照

昭和十年新京演藝史（3）
天野光太郎

▽レヴュー、奇術

三月に二代目松旭齋天勝が來演した。テンカツでなくてテンシヤウだなど苦しい言譯をしてゐたが、兎も角内容も相當充實し、人氣は良かつた　五月に日本小女歌劇が來たが不入りだつた。七月に印度魔術團なるものが掛つたが、之は書かぬ方がまし位なもの、九月に宗家松旭齋天勝の引退興行がやつて來た。之は正直間違ひなしの天勝で、本年中での大物の一つで成績は無論惡くなかつた。かう並べて見るとレヴューなんかは殆ど來て居ない、要するに演劇と云ひ之と云ひ、頭數の多いものの興行は、未だ新京では六つかしいことが判る。

▽淨瑠璃

淨瑠璃は四月に當地素人連の團體新聲會が、娘文樂人形芝居を招んだ、之は半分素人の道樂だつたけれど、却々の人氣だつた。續いて八月には大阪の文樂が國家藝術最初の海外進出として、大擧來演した。之は全く羽左の來演と共に新京演藝史を飾るべき劃期的壯擧であつた。

▽舞踊、音樂

此中には純藝術として別格に扱はねばならぬものがあるが、之を除くのも淋しいから便宜一括して揭げる。一月に斯民社立催の白系露人の音樂會があつた。三月に舞踊の川畑文子が來た、昨年大連や其他で演つたのだが、會場がない爲新京を拔かしたので、今度は此地へ丈け來て二日間滿員をして行つた。五月にシヤム舞踊團が來た。古典的な珍らしいものだつたが甚しく不入りだつた。續いて天才少女尾上房子の舞踊が來たが之も成績は慘めだつた。同じ月に淡谷のり子が矢張り新京丈けにひよつこり來て滿員した。六月の松坂屋ブラスバンドも良い收穫の一つだつた。同じ月チムバリストの提琴演奏會があつた、新京最初の世界的音樂家を迎へたので大成功だつた。八月に太田綾子女史のソプラノ獨唱會があつたが、宣傳不足の爲氣の毒な程の不成功だつた。併し聲樂其物の評判はよかつた。續いて東海林太郎が來て滿都を湧き立たせた。九月にコロムビヤ藝術團と稱して二三吉、晋丸等の一行が來たが、晋丸の病氣落伍等が祟つて散々の不入りだつた。其の前に八月に日本舞踊で羽左の婿の吾妻春枝がやつて來たが、餘り人氣が出なかつた。十日に石井漠の一行が來て相當の成績を收めた十一月には西班牙の舞姫マヌエラ・デル・リオを日本行きの途中に擁して、日滿に於ける最初の公演をなさしむるに成功した。チムバリストとデル・リオとは本年新京藝術界を飾る二大收穫であつた。

アメリカの宣傳映畫の製作倍加

アメリカに於ては一般各事業會社の好調に伴ひ、之等の事業會社が宣傳用に使ふ商業用映畫の増加は、誠に目醒ましいものがあり、今年九月以降のヽが製作本數は、昨年同期に比し約一〇〇パーセントの増加を示して居り、爲に之を請負製作する紐育の各西海岸サーヴイス撮影は、未曾有の活況を呈してゐる、而して之等宣傳映畫は三五ミリと十六ミリの兩用があり、いづれも映畫劇場に於て上映されることは少く、多くは各地方のセールスマンの手を通じて、特殊な上映をされてゐる

右、商業用映畫の製作請負者として有名なるものは、リード・エモンス、ウイルデイング、ジヤム・ハンデイ、キヤツスル、パニー・ニュース商業映畫部等の諸會社があり、著名なスターも出演することも往々ある

日本に於ても増加の傾向

一方、我が國に於ても、此種商業用宣傳映畫の製作が増加して來た

その主なるものは化粧品、ビール會社、簡易保險局、森永キヤンデー、ライオン齒磨等々である

その製作本數の増加率は、大體アメリカと同樣の歩調で、九年度の本數は八年度に比し倍加の傾向を示し、益々増加の狀勢にあつて、本十年度は未だ當局の統計表は作成されてはゐないが、三分の二は増えてゐるものと見て差支えないものゝ如くである、のみならず、化粧品或はデパート等の宣傳は、各興行映畫の中に挿入され、又は簡易保險局の如きは、大會社と提携して劇映畫をも製作してゐる、斯くの如く商品の販賣競爭は、遂に最も大衆性に富んだ映畫を利用することゝなり、今後もより一層拍車がかけられるものと見られてゐる

トレンカーの山岳映畫「雪山の騎士」

世界的登山家であり、スキーヤーとして第一流の大家であるルイズ・トレンカーが、佛蘭西ヴアンダル・エ・ドラツク社のために主演した「雪山の騎士」が近く東和商事へ入荷、新春のスクリーンを飾る運びになつた、これは例によつて、雪山の生活者トレンカーの壯烈な登山ぶりとスキーの妙技を取入れたもので、相手役は「商船テナシチー」マリー・グローリーが勤め、マリオ・ボンナルドが監督に當つてゐる

撮影所だより

‖日活・京都‖

▽山中監督「怪盜白頭巾」後篇着手…新春映畫、山中貞雄監督、大河內傳次郎主演「怪盜白頭巾」前篇は完成したが、引續き後篇を山中監督、稻垣監督共同でクランク開始した

‖新興・東京‖

▽勝浦監督「大學の獅子」撮影完了…勝浦仙太郎監督が河津清三郎、由利健次、姫宮接子、高津慶子主演で撮影中の陶山密原作脚色「大學の獅子」は十六日撮影完了、直ちに整理に入つた

▽曾根監督「三つの愛」主演者變更…曾根千晴監督「三つの愛」の主演者、河津清三郎は南部章三に變更された

▽「初春行進曲」オールトーキーを製作…新興東京撮影所では、一九三六年新春の御芽出度の映畫として、既報の新春躍進の新興紹介映畫「飛躍の新興」の外に、オールトーキー「初春行進曲」を製作する事となつた、同篇には小宮一晃、田中筆子を司會者として、一貫したプロットの下に、新興東京の男女優スター全部が總出で賑やかに飛躍する新春を壽がうといふものである

映畫「バーロの嫁取り」
―十字架バラヂウム―

エスキモーの實生活を記錄した映畫としては決して珍らしいものではないが、アメリカものゝこの種映畫に見られるやうな出鱈目かないところがいゝ物語り的興味を盛りあげるために白人を引つ張り出して來た「エスキモー」などより、記錄映畫の本質から言ふと、この一篇の方がずつと愉しめるやうな氣がした、このエスキモーの生活を記錄した映畫にも一貫したストーリーがない譯ではない、ただエスキモーの生活を記錄してゆくうちに自ら一つの筋が點綴されたといつた構へが綺麗に見えるのである、

「バーロの嫁取り」といふ一つの奇習を中心に、春から夏へかけて極地の風景とエスキモー達の僞らざる生活とが、映畫の全面に亘つて快適に美しい律動を傳へてゐる、嵐の夜小舟に身を乘せ大波を衝いて嫁取りにゆく邊りのクライマックスには充分に愉しあるものがあつた（N生）

「歸らぬ船出」
―パラマウント―

題名、日本譯では感じがないが「ライムハウス・ブルース」といへば隨分にふるい、耳慣れたブルース曲なのだ、原題をそのまゝにして欲しかつたラフト、パーカー、アンナ・メイ・ウオンといふ堂々の顔振れだが、内容は極りきつたやうなもの、薄暗い港の裏街の感じは全體に亘るブルース的伴奏樂に助けられて相當に出てゐた（郁磨）

雜音

帝都キネマの招待興行仲々盛大を極める館の結構も大分變つた、舞台の感じも以前より良くなつたし、再生装置の調子も良好である、機械室が少しせり出し過ぎてゐるやうに思はれるのはどんなものであらうか▲長春座では、かうなるとうちも何んとかもつと手を加へなければならぬと言つてゐる、內地の一流館を見學して歸つて來た湯淺さんが、果してあれこれと設備の改裝に頭を惱してゐるさうである▲人氣商賣である何んと言つても不斷の勉强が大切である▲豐樂劇場の優待半額券を刷込んだからせい〴〵利用して頂きたい

今日の演藝街

△長春座―二十七日まで、カザリン・ヘップバーンの「小牧師」栗島すみ子、竹內良一の「日本女性の歌」フランク・バック氏製作「バンジヤ」

△新京キネマ―二十八日までモンテイ・バンクスの「モンテイの荒武者飛行」ドロテア・ウイーク、ヘルタ・チイーレの「黒衣の處女」尾上菊太郎、歌川絹枝の、

△「繪供養」豐樂劇場―二十七日より、リチヤード・バーセルメス、ガートルド・マイケルの、「生命の雜沓」フランチヨット・トーン、マデリン・キヤロルの「世界は動く」漫畫、ニュース

△帝都キネマ―二十七日より霧立のぼる、河津清三郎の「女流探訪記者」嵐寛壽郎の「鞍馬天狗江戸日記」バスター・キートンの「キートンの麥酒王」

十二月廿八日 土曜 戊寅 友引 滿 胃宿 舊十二月三日

● 一白の人　人の先に立たんより暫くは先を讓りて進め　甲と丙と丁が吉

● 二黒の人　辛棒の棒を杖として難路を越ゆる覺悟が吉　辛と壬と丑が吉

● 三碧の人　諸事意の如く成らざるのみならず再起困難　甲と乙と丙が吉

● 四綠の人　お先走りて他に迷惑を及ぼす事ある危險日　甲と丁と丑が吉

● 五黄の人　頭角を現はす日　上下內外の親和厚かるべし　辛と癸と丑が吉

● 六白の人　從前よりの方針を改めず直進すれば功成る　辰と丙と丁が吉

● 七赤の人　利潤大に擧る日　計畫を立て新春の活躍に吉　辛と壬と癸が吉

● 八白の人　氣を締め心を括りて萬事に當れば滿足を得　壬と癸と丑が吉

● 九紫の人　地位に不安を生じ意見も用ひられず不安日　乙と辛と丑が吉

居住消息

轉居

▲田中伊勢吉氏蓬萊町から牡丹江へ

▲伊藤信夫氏永樂町から千鳥町陸官二十二號へ

▲平野憲密氏花園町から平安町二丁目七號ノ二へ

▲中川清氏入船町から來新京

▲奈良不二夫氏（青森縣）日出町一丁目十六番地へ

出生

▲山田恭雄氏（大和通り四十二番地）長男英太郎さん十日出生

死亡

▲江田芳榮さん（羽衣町一丁目十四番地）二十五日午前七時五十五分死亡

▲高井賢三氏（花園町三丁目三十六番地）男正純さん二十五日午前六時死亡

豐樂劇場 廿七日より卅日まで有効 讀者 半額優待券（一人一枚限り） 新京日日新聞社

豐樂劇場 廿七日より卅日まで有効 讀者 半額優待券（一人一枚限り） 新京日日新聞社

滿洲土建と日滿土建の合併
明年四月に實現

かねてより問題となりつゝあつた滿洲土建協會と日滿土建協會とを合併すべしとの議は愈機熟し明春四月實現することに內定した、新名稱は滿洲土木建築事業協會と改稱する模様である、日滿土建協會の創立は昭和八年で滿洲土建協會を母體として成立したもので堀三之助老を會長とし相當の功績を擧げて今日に到つたが滿洲國內の土建事業は昨年を峠として特別の事情無き限り降り阪となることは火を見るよりも明かであり經營の合理化を圖る意に於て豫定の如く兩者の合併が行はれることになつたもので新入協會員の詮衡には嚴選主義を以つて臨む筈である、尙ほ滿洲土建協會副長加藤眞利氏の大倉土木本店詰による後任問題を繞り內地組と滿洲組對立化し業界に波紋を投げつゝある折柄兩協會の合併により更に擴大する模様である即ち岡、川邊兩氏の中より後任副會長を選出せば榊谷、高岡兩氏を加へ正副會長三氏共滿洲組をもつて壟斷することになり內田組の內燃的不平に油をそそぐ事とならう、更に亦一部では正副會長間の關係昔日の如くＸＸならざるやとも噂され一部不平組の策動もあり何等かの形において相當の波瀾あるものゝ如く噂されてゐる

十月末現在に於ける十年度國庫現計

【東京國通】本年十月末現在に於ける昭和十年度の國庫歲入、歲出現計は左の如し（單位千圓）

△歲入

經常部	四二七、七九八
臨時部	三一九、〇七七
合計	七四六、八七五

△歲出

經常部	五七八、五二九
臨時部	二九〇、〇六一
合計	八六八、五九〇

而してその中特に景氣觀測のバロメーターとされる經常部歲入の內容に就て見るに印紙收入及び日銀納付金に於て減少を示してゐる外は租稅收入官業收入共に增加し殊に租稅の如き相續稅、酒稅、取引所稅、關稅を筆頭として軒並は增加となり總額に於て前年同期に比して三千百九十五萬八千圓の增加を示して居る

請負稅捐局一掃さる

康德三年度豫算中稅捐局整備に要する經費として百九十六萬一千圓を計上してあるが右は從來稅捐局百五十三局中五十三局が模範稅捐局として政府直轄のもので、他は請負制度となつてゐたが、今後は之を百一局に改編して全部請負制度を廢するもので、向後の成績は期待されてゐる

本年の我財界好調裡に越年
明年も大体順調に推移せん

【東京國通】本年の我財界は
一、一般物價、特に繭糸價米價等農產物價の價格昂騰
二、株價高
三、豫想以上の貿易好調
四、軍需景氣の依然たる持續
五、米穀景氣の顯著なる恢復

等に依つて好調裡に越年することとなつたが明年の財界に關し金融界其の他の觀測を聞くに、我產業界が今日の如く好轉したことは爲替相場の低落による輸出の增進、輸入代用品としての內地產業の勃興數ヶ年に亘る軍需景氣の持續等專ら時局の影響による點が多くその根底は昭和四、五、六、七年に亘る不況時代に培養されてゐた、即ち各種產業に亘つて技術の進步、經營の合理化、賃銀の切下げ等生產費の切下げが行はれ不況時代にも堪へんとする努力が積まれて來たのであつて、充分な根底を有して居り、且つ財界も極めて堅實な基調に立脚してゐるのであるから根本に於て前途を不安視する點はないが殊に世界的に見て不景氣は大體底を入れたかの感を呈して居り、國內的には農村の危機もどうやら脫した趣きがあり又赤字公債の續く限り健全な產業資金の供給は依然潤澤にして低金利の持續疑ひなく物價の昂騰もその上昇率が著しくないだけに貿易の前途も悲觀の要なく、十一年度豫算が語る如く軍需景氣は明年も變化ないのであるから、旁々財界は政治的その他突發的事變の生じない限り明年も亦大體順調な推移を示すだらうと謂はれてゐる

十三都市卸賣物價指數

【東京國通】本月の內地十三都市の卸賣物價指數は九九・六で前月より五厘低落した

會計法は廿八日公布

滿洲國會計法は廿八日公布される事となつたが、之に伴ふ附屬法令二十餘は明年匆々具體案作成に着手する筈である

滿洲國農村對策着々實現

實業部に於ては明年度豫算に農事施設補助費として五萬五千五百圓農會助成費として二萬九千八百圓を臨時部に計上してゐるがこれは假令小額なりとは云へ滿洲國農村對策の緒をなすものと注目せられてゐる、即ち同部に於ては曩に農村對策の一つとして協同組合精神に基づく農村組織體の結成を急ぐこととなり既存の農會改組計畫中であるが先づ農民自體に協同組合精神の普及涵養をなすべく農民共同施設の設置に就て政府として出來得る限りの補助を與へる一方畜產獎勵費或ひは優良種苗普及費、優良小麥普及費、粟普及費、ケナフ普及費等農務關係の各豫算を總動員して出來得る限り協同組合結成の線に副ふ支出となすべく明年度以降に於る實業部のこの農村對策は期待せられてゐる尙ほ同部本年度新豫算は

經理部	[illegible]
臨時部	[illegible]
計	[illegible]

日支貿易協會設立絕望か
創立總會延期さる

日支經濟提携具體化の第一步として去る十月支那實業視察團が渡日して日本には日華貿易協會を、支那側には中日貿易協會を夫々組織することに決定し、廿七日同時に創立總會を開催する手筈であつたが支那側の申出により明年一月に延期されることゝなつた、支那側のかゝる申出は日支關係が最近惡化の傾向なので大事をとつたものと思はれるが現狀よりすれば無期延期の外なからうと觀られてゐる

滿洲國馬政局
新馬二百餘頭を購入

馬政局では春の競馬に出走する新抽籤馬買出しの爲め曩に瀨崎屬官始め六名を二班に分ちハイラル及び林西方面に出張させたが、此程一行は二百數十頭を購入歸京した、右新馬はハルビン國立養馬場、奉天國立養馬場に各百頭を配屬殘り數十頭は委託により新京養馬俱樂部に讓渡する事になつてゐるが、今回の購入馬は從來のものに比し優秀馬多く殊に林西產馬の大量購入は始めてなので早くも春のシーズンはハイラル馬と林西馬の激甚な競爭が豫想され、ファンの興味をそゝつてゐる

種馬場長會議終了

馬政局では廿三日より三日間種馬場長會議を開き濱田局長以下各科長列席、本年度の成績を檢討すると共に新年度の馬匹計畫に就て種々打合せをなすところあつた

對加貿易常道に復歸す
報復關稅撤廢へ

【東京國通】對カナダ貿易常道復歸に關する關稅調查會は廿六日丸の內中央會議所に於て開催、去る七月廿日以來施行中のカナダに對する報復關稅即ち小麥、パルプ等八品目に對する從價五割賦課に關する勅令案及同大藏省告示撤廢に關する幹事會原案を附議して之を異議なく可決した、かくてカナダの不當なる本邦品輸入稅賦課によつて歪められてゐた日加貿易は兩國政府の步み寄りによつて漸く五ヶ月振りに常態に復するに至つた

對伊通商斷行の一面に
米伊貿易が飛躍的發展

【東京國通】イーデン外相の就任によつて英國政府は對伊强硬政策繼續を明示したが地中海沿岸諸國よりなる對伊强硬壓迫工作確定のため廿四日ユーゴースラヴイア政府の要求に從ひ對伊通商斷行によりて對外貿易總額の二割五分を喪失したユーゴースラヴイア國の損害を補償する爲英國へ輸入されるユーゴースラヴイアの鷄卵を無稅に七面鳥、鷄肉の關稅を緩和し、ベーコンの輸入割當量を增加するの辨法を講じその旨告示した、斯くて聯盟加入諸國により對伊通商制裁が繼續されてゐる一方米國商務省の發表によれば米伊兩國貿易は去る十一月中飛躍的上昇を示し一方を閉ざせば他方に通ずる國際政局の多面性を如實に物語つて興味がある、即ち本年十一月中の米國對伊輸出總額は九百萬弗で昨年同期に比し六十萬弗を增加し殊に重要輸出品たる棉花は三百八十萬弗、問題の石油は百廿五萬弗、銅が百五十萬弗夫々昨年同期に比しては二倍乃至三倍の激增振りを示してゐる、尙ほイタリー領アフリカ諸地方に向つて輸出された米國商品は昨年十一月に於ては僅かに一萬八千弗に過ぎなかつたのに本年十一月に至つては實に五十八萬弗と飛び上り、此中石油は四十五萬弗輸出して飛行機、タンクの活動を可能ならしめ自動車の如き昨年十一月は僅かに六千七百弗に過ぎぬのが本年は十倍の七萬弗に達して米國政府當局は再三に亘り、「イタリー」との通商上干涉せず」との態度を明示しつつあるにも拘らず利を以て利に赴く米國商品の對伊進出は中立法規の嚴正なる適用問題を中心に各方面から多大の興味を以て觀られてゐる

中銀週報

十五日より廿一日に至る貨幣發行平均額は左の如くである（單位錢）

貨幣發行額	[illegible]
紙幣	[illegible]
準備	[illegible]
保證	[illegible]
鑄幣	[illegible]

土建ニュース

決定工事 ●鐵地方部
▲本社裏活動寫眞室改造並修繕工事 豫特一千四百二十一圓八十錢 蔦井組
▲本社第二分館一部間仕切水設其他工事 豫特一千七百九十八圓十六錢 今井組

商況欄
（十二月廿七日前場）

海外經濟電報

倫敦銀塊	休
同 先限	
紐育銀塊	四九仙四分三
孟買銀塊	休
米英爲替	二八弗八二仙
米日爲替	二九弗七〇〇仙
米支爲替	四七弗〇〇〇
英日爲替	二八弗八分七
英支爲替	[illegible]
印日爲替	休
スチール	[illegible]
アナコンダ	[illegible]

▲米棉

現物	一一仙九〇
十二月限	一一仙五一
一月限	一一仙三〇
三月限	一一仙一一
五月限	一〇仙九一
七月限	一〇仙五六
十月限	一〇仙五六

▲印棉

ブローチ 休
オームラ
ペンコール

▲市俄古小麥

十二月限	一〇六仙四分三
一月限	九九仙四分三
三月限	八九仙四分三

▲カルカツタ麻袋

當筋 休
鐵筋

金銀市況

●上海標金
本寄 [illegible]
步 [illegible]
●大連金鈔票
現物 [illegible]
寄付 [illegible]
引 [illegible]
出來高 [illegible]

爲替相場

十二月廿八日限 寄付 [illegible] 步 [illegible] 一月十三日限 [illegible]
引 [illegible]
出來高 [illegible]

●大連鈔票銀大洋 現物 一〇八、五〇
●奉天國幣金票 現物 一〇〇、〇〇
●哈爾濱國幣金票 現物 一〇〇、〇〇
●安東國幣金票 現物 一〇〇、〇〇

▲上海爲替 ▲日本向
第一回 賣 一〇二 買 三七五
第二回 賣 買 八七五
第三回 賣 買

▲倫敦向
第一回 賣 一志二片[illegible] 買
第二回 賣 買
第三回 賣 買

▲紐育向
第一回 賣 二九弗一六分七 買
第二回 賣 買

▲大連爲替 ▲上海向 [illegible]
▲營口向 [illegible]
出來高 [illegible]

▲阪神日米爲替 第一回 賣 二八弗四分三 買
▲阪神日英爲替 第一回 賣 一志二片〇〇〇 買

株式相場

▲大阪株式（短期） 大新 東新 日産 寄 引 [illegible]
▲大連株式（短期） 品 新 五 豆 新 鈔 新 東 新 二 新 日 新 鐘 新 寄 引 [illegible]
▲奉天株式（期短） 滿 興 寄 引 [illegible]

商品市況

▲大阪棉糸 寄 付 [illegible]
▲大阪棉花 [illegible]
▲大阪人絹 [illegible]
▲横濱生糸 前場引 後場寄 [illegible]

東新 大新 日産 五品 豆新 鐘新 満新 二甲 電乙 同拓 東拓 滿興 [illegible]

商品市況 優先 滿毛 東亞 日晉 [illegible]

特產市況

●大連大豆 [illegible]
●同 豆粕 [illegible]
●同 豆油 [illegible]
●同 高粱 [illegible]
●哈爾濱大豆 [illegible]
●同 小麥 [illegible]
●神戸豆粕 [illegible]

新京取引所市況（十二月廿七日前場）

●大豆 現物（一石値段） 現貨（混合白片値段） [illegible]
●高粱 [illegible]

新京日日新聞 朝刊

康德三年度滿洲國豫算 諮詢を經て本日公布

治法撤廢等の財政膨脹に備へて 健全財政主義を踏龍

康德三年度滿洲國豫算は參議府の諮詢を經て二十八日附で公布されたが歲入歲出共各二億一千九百四十萬五千圓にして前年度(康德二年七月より十二月まで)豫算總額の倍額二億九百九十萬七千六百圓に比し九百四十萬七千四百圓の增加となつた、新年度豫算は新たに制定された曆年制により康德三年一月より同十二月末に至るものであるが、治外法權撤廢等による康德四年度の財政の膨脹を豫想し大體建國以來の建全財政主義を踏襲したもので、一般會計並に特別會計の歲出入內譯は次の通りである

(一)一般會計歲入種目別豫算額表

經常部

種目	金額
▲租稅	一六一、七九七、〇〇〇
關稅	[illegible]
內國稅	[illegible]
鹽稅	[illegible]
▲印紙收入	[illegible]
▲專賣利益金	[illegible]
專賣總署利益金	[illegible]
權運署利益金	一三、二三四、〇〇〇
硝礦總局利益金	二、六〇〇、〇〇〇
▲官產收入其他諸收入	[illegible]
經常部合計	[illegible]

臨時部

種目	金額
▲雜收入其他	[illegible]
▲由特別會計滾入	[illegible]
▲國債金	一〇、〇〇〇、〇〇〇
▲剩餘金	[illegible]
臨時部合計	[illegible]
總計	二一九、四〇五、〇〇〇

(二)同歲出所管別豫算額表

所管	區分	金額(圓)
▲帝室費		二、〇〇〇、〇〇〇
▲總務廳	經常部	[illegible]
	臨時部	[illegible]
	合計	[illegible]
▲民政部	經常部	[illegible]
	臨時部	[illegible]
	合計	[illegible]
▲外交部	經常部	[illegible]
	臨時部	[illegible]
	合計	[illegible]
▲軍政部	經常部	[illegible]
	臨時部	[illegible]
	合計	[illegible]
▲財政部	經常部	[illegible]
	臨時部	[illegible]
	合計	[illegible]
▲實業部	經常部	[illegible]
	臨時部	[illegible]
	合計	[illegible]
▲交通部	經常部	[illegible]
	臨時部	[illegible]
	合計	[illegible]
▲司法部	經常部	[illegible]
	臨時部	[illegible]
	合計	[illegible]
▲文教部	經常部	[illegible]
	臨時部	[illegible]
	合計	[illegible]
▲蒙政部	經常部	[illegible]
	臨時部	[illegible]
	合計	[illegible]
經常部合計		[illegible]
臨時部合計		[illegible]
▲總計		[illegible]

(三)各特別會計歲入歲出預算額表

所管	會計	區分	金額
▲總務廳所管	減債基金	歲入	[illegible]
		歲出	[illegible]
	關稅及鹽稅擔保舊外債擔路基金	歲入	[illegible]
		歲出	[illegible]
	需品	歲入	[illegible]
▲軍政部所管	國都建設局	歲出	[illegible]
		歲入	[illegible]
		歲出	[illegible]
	被服廠	歲入	[illegible]
		歲出	[illegible]
	軍械廠	歲入	[illegible]
		歲出	[illegible]
▲財政部所管	國有財整理資金	歲入	[illegible]
		歲出	[illegible]
	投資	歲入	[illegible]
		歲出	[illegible]
	鴉片專賣	歲入	[illegible]
		歲出	[illegible]
	煤油類專賣	歲入	[illegible]
		歲出	[illegible]
	權運署	歲入	[illegible]
		歲出	[illegible]
▲實業部所管	鐵路國債	歲入	[illegible]
		歲出	[illegible]
	國有林事業	歲入	[illegible]
		歲出	[illegible]
▲交通部所管	郵政	歲入	[illegible]
		歲出	[illegible]
▲總計		歲入	[illegible]
		歲出	[illegible]

新年度豫算の編成の跡をみる

別項の如く康德三年度豫算總額は二億一千九百四十萬五千圓にして前年度(六ヶ月分)の倍額に比し九百四十萬七千六百圓の增加となつてゐるが國防負擔金の增加額五百萬圓減債基金の增加額約二百萬圓を含むものであるから一般行政費は實質的には前年度とほゞ同額であるといふべきで新年度豫算の編成方針は依然として前年度の建全財政主義を踏襲したものである、卽ち康德三年七月より實施される治外法權の撤廢による日本側警察官其の他關係職員の滿洲國轉出並に諸施設の增大によつて相當な膨脹を豫想されて康德四年財政を控へて新年度はつとめて建全財政方針による編成を行つたもので國防と治安の維持に重點を置いたほか、產業、文化、教育等の一般行政費は可なり削減された結果前年度に比し新味はない、歲出は軍政部所管が經常臨時合計七千三百五十四萬五千百三十圓で總豫算の三五%を占め、前年度の六千四百三十萬圓に較べて約一千萬圓の增加にして國防負擔金の增額五百萬圓を控除しても尙五百萬圓增加で國防並に國內治安工作の重要性を物語つてゐる

その他の歲出豫算の對總豫算率をみると一般、行政費四六%、國債費九%、徵稅費六%、帝室費一%、準備金二%で國防、治安維持費に對し比較的少ないのは新國家の內外における客觀的情勢からみて當然であらう

◇……◇

新規要求の主なるものは國道建設費の一千百二十二萬七千圓、都市防水費の百九十六萬五千圓、地方土木費の百六十萬圓衛生施設費の五十三萬二千圓金融合作社助成費六十九萬八千圓と產業振興費の百五十七萬五千圓及び地方教育費の百三十四萬四千圓で何れも國民の福利增進をはかる施設に要する經費である、このほか治安維持會費の二百三萬圓臨時警察費の三百四十八萬七千萬、匪賊討伐費の二百六十五萬九千圓が國防及治安維持のために計上され、來るべき治外法權撤廢準備のため警察整備費百廿萬圓、司法機關整備費四十三萬八千圓、稅捐局整備費百九十六萬一千圓が容認されてゐる新規事業に要する經費としては官衙營繕費の六百八十萬圓、遂河…等の航路維持費の…六千圓、地籍整備費…萬九千圓、縣費補助…六十五萬八千圓並に…れ百八十二萬九千圓…このうち稅捐局整備…全國百六十六稅捐局…十五局が模範稅捐局…府機關にして他の百…財政部の管下に請負…施行してゐたものを…りこれを撤廢し盡く…に改革するために要…地籍整備費は現在滿…未だ地籍法は制定さ…いが漸次地籍の整備…る方針のもとに新年…當なる縣五縣を撰定…備の試驗的實行の第…手したものである

◇……◇

實業部所管の產業行…百六十二萬三千三百…にして產業建設の…おける滿洲國にとつ…やうに感じられるが…は重業產業を統制し…

家畜交易市場法 本日公布さる

二十八日勅令を以つて公布される家畜交易市場法は家畜の賣買と公正なる價格の成立を容易にすると共に關係業者の不正行爲を抑壓して賣買主の利益を擁護し、併せて家畜衛生の取締り及公衆衛生の向上に資する爲制定されたもので次の通りである

家畜交易市場法

第一條 本法に於て家畜と稱するは馬騾驢牛綿羊山羊豚及駱駝を謂ふ

第二條 家畜交易市場(以下單に市場と稱す)は公共團體又は命令を以て定むる者に非されは之を開設することを得す

第三條 市場を開設せんとする者は業務規程及事業計畫に關する書類を具へ監督官署の許可を受くへし業務規程又は事業計畫を變更せんとするときは監督官署の認可を受くへし

第四條 公共團體に於て常設市場を開設するときは監督官署は其の申請に依り主管部大臣の認可を經て必要と認むる區域內の私設市場の廢場を命することを得

第五條 前條の場合に於ては公共團體は廢場を命せられたる私設市場の開設者に對して損失を補償すへし

前項の規定に依り補償すへき金額は協議に依り之を定む協議調はさるときは監督官署の決定を求むへし其の決定に不服ある者は決定書の送付を受けたる日より九十日以內に法院に出訴することを得

第六條 市場に於ては其の場內又は附屬の場所に在る家畜に非されは之を賣買又は交換することを得す

第七條 常設市場に付主管部大臣の認可を經て監督官署の指定したる區域內に於ては命令に別段の規定ある場合を除くの外當該市場の取扱ふ家畜に付市場を開設することを得す

第八條 家畜の賣買交換又は其の周旋を業とする者は市場附近の區域內に於て市場開場日及其の前後の期間中其の市場の取扱ふ家畜に付賣買交換又は其の周旋を爲すことを得す但し命令に別段の定ある場合は此の限に

第十三條 市場の休場又は廢場は監督官署の認可を受く

實質的豫算會計制度から 新會計法の誕生 勅裁を經て本日附公布さる

滿洲國會計法は關係當局間に成案を得、去る二十三日の國務院會議の可決後勅裁を經て二十八日附をもつて公布された、從來政府の會計に關し特別の法令を制定することなく民國時代の法令に形式上準據して專ら實質的豫算會計制度によつて、豫算が立てられて來たが國內治安の改善と政府諸機關の整備に伴ひ今や豫算會計制度の樹立普及も略々所期の程度に達し國內の情勢は會計法の實施を可能とするに至つた爲新に制定、施行されたものである、新會計法は大體日本の立法令に倣ひたるも滿洲國の特殊事情を考慮して會計年度を曆年制とし繼續費を認めず施行豫算に對し補整豫算の制を設け第二準備金を以て支辨する經費を臨時費に限り決算は之を佈告せしむる等の差異がある、更に端數計算租稅外諸收入整理等に關する規定を本法に定むると共に契約に關する規定は別に單行法令として曩に公布されたから之を除き又特別會計に付ては特別會計法に於て特に規定する事項を除き原則として本法を適用する趣旨である

會計法

第一章 總則

第一條 國の豫算は每年之を定むへし

第二條 政府の會計年度は太陽曆年に依る

一會計年度所屬の歲入歲出の出納に關する事務は翌年度三月三十一日迄に悉皆之を完結すへし

第三條 各機關に於ては法律勅令を以て規定したるものを除くの外特別の資金を有することを得す

第四條 政府は滿洲中央銀行をして國庫金出納の事務を取扱はしむ前項の規定に依り滿洲中央銀行に於て取扱はれたる國庫金は勅令の定むる所に依り政府の預金とす

第五條 歲出の支拂上一時國庫金に不足を生ずるときは政府は之を補ふ爲一時借入金を爲すことを得

前項の規定に依る一時借入金は當該年度の歲入を以て之を償還すへし

一時借入金の最高額は…に於て之を定む

第二章 豫算

第六條 租稅其の他一切の收入を歲入とし一切の經費を歲出とし歲入は之を總豫算に編入す

第七條 會計年度開始迄に豫算公布せられざるとき…府は前年度豫算を施行…

前項の場合に於ては…算を編成し施行豫算…

第二十二條 各大臣其の他前條の規定に依り支出の權限ある官吏(支出官)豫算定額を支出せむとするときは滿洲中央銀行を支拂人とする小切手を振出すへし

第二十三條 支出官は債主の爲にするに非されは小切手を振出すことを得す但し以下四條の規定に依り主任官吏又は滿洲中央銀行に對し資金を交付する場合に於ては此の限に在らす

第二十四條 支出官は勅令を以て定むる經費に限り主任の官吏をして之か現金支拂を爲さしむる爲勅令の定むる所に依り其の資金を當該官吏に交付することを得

第二十五條 各大臣は勅令の定むる所に依り現金支拂を爲さしむる爲出納官吏をして其の保管に係る歲入金歲出金又は歲入歲出外現金を繰替使用せしむることを得

前項の規定に依り歲出金に…

第四十三條 各大臣は特に必要ある場合に於ては勅令の定むる所に依り各廳の事務…

附 則

本法の施行期日は勅令を以て之を定む

謹告

各位益々御多祥之段奉賀候

陳者、今般突然ガソリン販賣組合之成立に依りガソリン一切現金制を發表せられ、加之値上斷行と云ふ有樣にてタクシー業者としては此以上の打擊はなく從つて營業を圓滑に持續するには自動車料金の現金制に依るより外策無き狀態と相成候に付御得意樣には誠に御迷惑とは存じ候共爾今自動車料金は一切現金にて頂戴致す事に協議決定致候從而運轉手は皆樣に現金にて御願致す筈に付不惡御諒承の上相變らず御愛用被下度御願申上候 敬具

昭和十年十二月二十六日

新京自動車運輸營業組合

タクシー業者一同

各位

謝罪廣告

去る二十五日クリスマスの夜市內祝町喫茶(ゆりかご)マダム北條たま子さん並にバーテンダー大西さんに多大の御迷惑を相掛けました事を衷心から謹でお詫びを申上げます尙今後は絕對に斯る行爲をなさゞる事を紙面を以て茲に誓ひます

市內三笠町三ノ一

マネージヤ 內田久治

社説

昭和十年を送る
多事なりし年 緊張の來年へ

一

昭和十年もあと數日で暮れてゆく。かへりみれば滿洲國のこの年も事多い十二ヶ月であつた。更に視野をひろく取つて展望しても、日本の大陸進出を基本とする諸般の情勢の展開は、この昭和十年を特に記錄すべき年として、非常時的緊張の來年へと續かしめてゐるのである。

二

今年の日本の對外關係について簡單に回顧するならば、國內に於ける國民意識の充實そしてそれよりする日本朝野の對外態度の大體に於ける確立、東亞に於ける自主的國策工作の決然たる遂行、この事が先づ何よりも特記されるであらう。實物教訓は日本國民にも、世界列國にも、いはゆる國際原則や、集團的行動の愚劣さを證明して來たと言へる。そして東亞の盟主として、東亞諸民族の平和と繁榮文化の向上のための、明治以來の大方針は最近に於いて歩正の實現への努力を具體化して來たのである。北支に於ける新しい自治政權の成立、對外蒙交涉等はわれらの身近に起つた、或ひは起りつゝある新情勢である。

三

滿洲國の康德二年も數多い變化、出來事で色彩られてゐる。北鐵の接收があつた。新しい諸鐵道が建設され來つた。この國の內閣の異動が行はれた。建國第三年、政治に、經濟に、その一々の主要テーマを再記する煩は避けよう。要するに日滿不可分關係をいよいよ緊密にし、兩國經濟のブロック的結合は、幣制の確立に、また先般の郵便條約に、着々と遂行されて來たのだ。この場合、事態の大本を把持する指導者の地位は確固として不動である。われらは最大の感謝をかれらの勞苦に拂ふものである。在滿全同胞、そして三千萬を越ゆるこの國の大衆の信頼はひとへにそこにつながれてゐるのだ。

四

國際的にも、また滿洲國にとつても曾つてなかつた程度に、形勢緊張を示すであらう一九三六年はいよいよ近づいたのだ。われら故國を離れ、この國に立ち働くもの、この時局に處し、來るべき諸般の事情の、當然な、また合理的な變化と推移とに備へ、充分な用意をもち、向后にも工作萬一にもあやまたざることを期すべきであらう。治外法權の撤廢の漸進的遂行、そしてそれに伴ふ附屬地返還、行政權、課税權の移讓等々、われらの日常生活に至大な關係をもつ諸問題は來るべき年に於いて變革の第一歩を踏み出すことと思はれる。それらはわれらのまへに展開されゆく歷史の進歩である。われらの日々の生活がそこに織り込まれるのだ。歳末回顧して感慨深い。滿洲國文化戰線の最高峰に立つわが社同人また一層の躍進的努力を誓ふものである。

滿洲國通貨問題 並に金融事情(六)

滿洲中央銀行副總裁 山成喬六 述

(3)國內銀行

國內銀行に就ては曩に大同二年十一月九日に公布せる銀行法に基づき申請認可されたるもの六十三行に上りましたが(本年九月末現在本店)何れも前身が錢莊錢舖丈けに、資本額五十萬圓以上のもの僅かに九つ、最大のものが二百二十萬圓の如き有樣であり、未だ發達段階に屬するものと云ふべく、財政部も優良錢莊の銀行改組並に弱小銀行の合併强化慫慂に努められて居ります。而して本行の肝煎で成立した地方銀行として特に擧ぐべきものに營口商業銀行並に奉天商工銀行の二行があります、前者は大同二年十一月三日營口に於ける所謂記帳貨幣たる過爐銀の發行及流通禁止と共に、銀爐に代るべき金融機關として資本金百萬圓を以て設立されたもので、後者は昨年秋滿洲事變直後破綻せる奉天儲蓄會を整理改組したものであり、其後の經營は頗る順調で、預金者は何れも回收不能と觀念して居た處へ、先きに各人三百圓迄は預金の大小に拘らず拂戾を受け、殘額は同行株式を以て渡され其第一回決算に於て四分の配當を爲し一時全損とあきらめて居つた預金者を喜ばしたと云ふ好成績を示して居ります。

(4)滿洲金融機關

以上の如く滿洲金融界の現段階は尚極めて幼稚の狀況にありますが、之を日本に比較すると、先づ五十年程遲れて居るやうに考へられます。日本銀行が明治十五年に創業し十八年兌換銀行券を發行しましたが當時從來存在して居た約百五十の國立銀行の銀行券並に大政官札を引繼整理した額は一億四千三百萬圓で本行開業當時引繼紙幣額國幣一億四千二百萬圓に比するとき僅かに百萬圓の差に過ぎず、而かも當時の日本人口三千數百萬人で滿洲國の三千萬人と大差なき有樣でありました、而して當時の日本は各地に二百八十の私銀行(本店)並に七百四十四の銀行類似會社が存在して日本銀行は生れ乍ら純然たる中央銀行として「銀行の銀行」となつて居るのに對し滿洲の銀行狀態は前述の如くであつて本行は中央銀行たる外に普通銀行業務を兼營して居るのに比すれば滿洲は正に日本より五十年以上も遲れて居ると云はなければなりません。

滿洲には現在に於て尚未だ金融市場と稱すべきものなく從てこれを昭和の日本のレベルに引上げんが爲には非常な速度と努力を必要とし第一從來の銀行從業員の頭から改造して行かなければならないのでありますが、本行百三十九ヶ所の店に一時に全部日本人を置くことは困難で大部分は從來官銀號其他より引繼いだ使用人でありますので、爾來訓練に努め漸次進步向上致しつゝありますが尚業務上遺憾の點が非常に多いのであります。

又現在各支行、辦事處に派遣して居ります日本人出張員も多くは年若く總行に於ける訓練期間が短い爲に各店共何かにつけ不行屆きで御不便と御迷惑をかけて居ることゝ存じますが、銀行としても出來る丈け早く手を揃へたいと存じて居りますからもう暫く御辛抱下さつて御支援下さる樣御願ひ致します。

此等の舊い滿人行員も可成よく働きます。舊紙幣回收事務は勿論のこと、春耕貸款の如きは一口大體百圓位の平均で二十萬人位の人に融通したのでありますが、各地少數の店員にて斯る繁雜なる仕事を滿人行員によりよく爲し遂げたのであります。

所謂春耕貸款の回收は最初多少悲觀されたのでありますが大體順調に參り本年度に於きましては特產價格の騰貴により回收率も良好となつて來たのであります。

要するに滿洲の金融界は日本に於けるが如き銀行預金百億圓、貯蓄預金二十億圓、信託預金十數億圓と云ふが如き尨大な金融界とは比較になりませんが、本行としても國民預金の奬勵增加に努め財政部當局と協力して金融市場の發達を促すべく努力して居る譯であります

(5)農村金融

農村金融機關として現在活躍して居るものに大興公司と金融合作社の二者があります前者は御承知の通り本行の附屬事業たる當舖、釀造業、油房、雜貨及代理業の各事業を一括して讓渡しました當行の別動機關とも見るべきものでありますが、當舖即ち質屋の經營に就ては全國百四十五箇所に店を持ち、總額千二百八十萬圓以上の貸付を行つて居り、主に農民を相手に小口金融を行つて居ります。後者即ち金融合作社は康德元年九月十七日金融合作社法に基き、政府の指導援助の下に地方農村金融の機關として各地に設立されたものでありまして、現在既に五十二社も設立されて居り、何れ三百社に上る計畫で非常な勢を以て增加しつゝあります。本行は大興公司を通じて當舖即ち質屋に經營資金を融通し居ると共に康德元年十二月十七日に設立された金融合作社聯合會を通じて各地の金融合作社に金融的援助を行つて居ります。

滿洲に於ける農村金融の發達を助長する必要上、低利長期の融資をなす金融機關の要をよく唱へられますが、其が爲には低利長期の資源を得なければならず、然も既に申上げました如く、滿洲には金融市場なるものもなく、本行の爲一の資源たる紙幣の發行は短期商業資金に充當せらるべきでありまして特產資金の貸出の如く特產出廻の季節的需要增減と共に發行又は回收しなければ直に國際爲替に影響を及ぼすものでありまして、不動產を擔保とする長期の貸出に之を固定せしむることが出來ないのであります。今日前述の如く多少之等の方面へも融通致して居りますのは之は過渡時代に於ける變態と申さなければなりません。結局國民の貯蓄力を涵養し預金の奬勵を圖り、以て金融機關の活動、金融市場の發達を助長する外なく、然る曉に於て始めて市場に於て長期債券の發行が出來、勸業銀行や其他不動產金融機關の活動が可能となるので御座います。

結

以上を[illegible]問題並に滿洲國現在金融機關の概況を大略申し上げましたが、終りに臨み長時間の御清聽を煩はしましたことを感謝すると共に今後一層本行の使命遂行上十二分の御援助を希望して止まない次第で御座います(終)

國都の一 躍進を如實に示す 交通量調べ
―首都警察廳調査―

首都警察廳では去月廿五、六七の三日間午前八時から午後六時まで廳員を總動員し特別市內主要地點九ヶ所で、急速緩速車其の他諸車步行者の通行數を

調査

した結果三日間を通じ時間的に見た最頻發時が午後四時から同五時の一時間で一分時平均交通量三十三人でこれに反し最小量時は午前八時から同九時までゞあつたがこの數量一分平均二十三人である、つぎに場所から見ると大馬路、四馬路交叉點で一分時平均五十七人の驚くべき數字である、最も少い場所は一分時平均十三人の興安大路、同治街交叉點であつた、之等通行の種別を見ると一分時平均步行者十六人、緩速車九台、急速車三台其の他諸車一台である、なほこの調査を本年四月調査に比すると最高は同數を示してゐるが最低は四月九に對し十三で高率を示してゐる、又平均量は四月の二十七に對し二十九で同樣の

增加

となつてゐる、この數から押しても國都の發展が充分に窺はれるわけである

丁香盧漫筆(卅九)

回東亞革命への第一歩(三)

支那が心から打解けて日本と提携して尊王をやらうと云ふなら攘夷などは問題で無いのだが此が甚だ疑問である、利誘威脅の結果面從腹非の提携では危險此上もあるまい、七十年前日本史の尊王攘夷では尊王が成功して攘夷は完全に失敗したが今日東亞の大舞臺では攘夷は勿論尊王もそう簡單に行かぬのではないか、蔣介石は日本の維新歷史に非常の興味を持ち最も南洲翁に傾倒私淑して居ると云ふことだが、向ふの御大が似是而非の南洲、此方の御歷々も似是而非なるの連中で我維新志士程の氣魄の無いのが局面打開の出來ぬ一原因でもあらう。

×

世界革命の一手段として東亞革命に先鞭を着けたのは何と云つても蘇聯である、此こそ英米に退去命令を突付けて英米をして慄へ上らした。其結果漢口九江兩英租界の返還となり上海の大牙城まで搖いだのであるが惜しい處で失敗した、それと云ふのも日本を無視して敵に廻したのが抑も失敗の大原因である、孫文が存命して居り蘇聯支那が日本と妥協し滿洲問題を解決しつゝ進んだなら餘程面白い大芝居が打てたらうと思はるゝのである、此の意味で今日の日本も對支問題と共に對露問題を併せ考ふべきでは無いか、序だから云ふが『打倒帝國主義』なる標語の目指す所は支那に於ける英米勢力排擊であるが此は說明拔きで其儘支那人の心底にアッピールする意味の强い標語で廣東から武漢に押して出て南京上海を平定し北伐に成功したのは單に此の標語のお蔭と云つてもよい位のものである、そこへ來ると日本の『歐米依存主義の放棄』は意味も言葉も弱過ぎるそれに長たらしい說明なしには一寸解かり兼ねると云ふ不便もある、こんな事では蘇聯の方が手が上かな。

×

滿洲問題が國際的に案外無難で片付いたのは天時地利人和に負ふ所が大であつた、歐米諸國が世界的不景氣に惱んで自國の救濟に急にして他を顧る暇が無い所謂世界不景氣樣々で此が天時である、地の利は何と云つても歐米から隔絕し居る英國が大艦隊を地中海に集中して伊太利を威嚇するやうな譯に行かぬ、其れに滿洲其物が日清戰爭、三國干涉日露戰爭以來の曰く因緣付きの土地なので全國民の血が高潮して人和となつた、處が北支工作となると大分趣が異なつて來る、元來白紙の土地だからである、國民の關心の足らざるをそう責める譯にも行かぬ。

×

天時地利人和の內でも人和を第一としてある、東亞の大革命をやらうと云ふには人和こそ大事である、天時地利は依然として我に惠まれて居るのであるがさて肝腎の人和は如何か、表面はイザ知らず內心支那人の對日感情が今日程惡化してる時はなからう、此れは何とかせずばなるまい尤も天時と地利が極端に日本に惠んで吳れれば(例へば歐洲に大動亂再發の如き場合)支那人の感情などが如何あらうと淸朝が支那を征服したやうに行くかも知れぬ、然し此とても日本國內の人和が最大條件であるが、聞けば近來相尅反目の險象が相當顯著に成りつゝあるとのこと、だから國民の眼光を外に向けて東亞革命の炬火に依りて淨化結束する必要があると說く論者があるかも知れぬが此れは少々危險と云ふもので御座らう、兎に角日本は今東亞革命の大事業に一步を進めんとして居るのである、孰にしてもアドヴエンチユラスの仕事である。而して常に憂ひは外に在らずして內に在ることを忘れてはならぬ。

オリムピック[illegible]軍の 役員決定

【東京國通】日本體育協會では廿四日午後五時半から精養軒で評議員會を開催ベルリン大會に對する大日本體協代表として平沼副會長並に同氏秘書に明大教授松本瀧藏氏、又日本代表選手團團長として專務理事大島又彦、主事鄉隆、會計小川勝次の諸氏をオリムピックの遠征軍の役員と決定[illegible]くもその陣容を整へた

江口刑事科長 視察談

【大連國通】滿洲國各縣警務局長訪日視察團一行十一名は引率官ハルピン警察廳刑事科長江口浩氏に引率され約三週間に亘り東京、名古屋、奈良京都等各地の警察機關、各工場其他關係方面の視察を終へ二十六日午前八時入港のばいかる丸で歸滿したが、船中で一行に代り引率官江口氏は語る

一行の內地で受けた印象は單的に[illegible]して云へば現在の滿洲國の各方面と比較して日本は斷えず一貫した目的に邁進してゐることでその現れとしてあらゆる階級を通じて官民協力一致して秩序正しく仕事に從事して居る事がはつきり窺はれた

[illegible]巡官の葬儀

【ハイラル國通】廿四日オラホドカに於て外蒙兵と衝突の際名譽の戰死を遂げた警務廳大西巡官の遺骸は廿六日午後三時着海、直ちに警務廳に於て壯嚴裡に葬儀執行された、因みに大西好男巡官は本年廿九才德島縣出身で德島中學校卒業神戶高等商船學校中途退學、本年十月滿洲國に入つた柔、劍道ともに二段の猛者で成績優秀、將來を矚望されてゐた人である

商況欄(十二月廿七日後場)

金銀市況

●上海標金
前引 一二六一、九〇
寄付 一二六〇、七〇
步 六二一、三〇 六二一、〇〇 六三四、〇〇

●大連金鈔票
寄付 九八、三〇
引 九八、四〇
高 九九、〇〇
安 九八、一五
出來高 三〇万

▲一月十三日限 一月二十八日限
寄付 步 [illegible]

●大連鈔票銀大洋
引 高 安 出來高 一四五万 現場 一〇八、五〇 一〇八、七〇

爲替相場

▲上海爲替
▲日本向
第一回 賣買 一〇二、一二五 一〇三、六二五
第二回 賣買 一〇二、二五〇 一〇三、七五〇
▲倫敦向
第一回 賣買 一志二片三二分一三 三二分一五
第二回 賣買
▲紐育向
第一回 賣買 二九弗一六分九 八分五
第二回 賣買

大連爲替
▲上海向 一〇四、七〇〇 四、四〇〇 四、三五〇
▲臺灣向 一〇四、八五 四、八〇〇 四、七〇〇 四、六〇〇 四、五〇〇

各地市況

●哈爾濱大豆
一月限 九、九〇 ―
二月限 九、八〇 ―
三月限 九、七五 ―
出來高 ―

●同小麥
一月限 一、六六五 ―
二月限 ― ―
三月限 一、六七〇 ―
出來高 ―

▲神戶豆粕

新京取引所市況(十二月廿七日後場)

現物(一石値段)
十二月限 一月限 二月限 三月限 四月限 [illegible]

定期(混合百斤値段) 寄 引
先物 大豆
十二月限 一月限 二月限 三月限 四月限 [illegible]
高粱 二月限 [illegible]

手形交換(二十七日)

金票 [illegible]
鈔票 [illegible]
國幣 [illegible]

鮮魚小賣相場(二十七日)

品名	百匁ニ付 最高	最低
活タイ	[illegible]	[illegible]
氷タイ	[illegible]	[illegible]
チヌタイ	[illegible]	[illegible]
連子鯛	[illegible]	[illegible]
アマタイ	[illegible]	[illegible]
中小タイ	[illegible]	[illegible]
ニベ	[illegible]	[illegible]
ブリ	[illegible]	[illegible]
カツオ	[illegible]	[illegible]
ヒラス	[illegible]	[illegible]
サワラ	[illegible]	[illegible]
サバ	[illegible]	[illegible]
アヂ	[illegible]	[illegible]
カレイ	[illegible]	[illegible]
ヒラメ	[illegible]	[illegible]
ボラ	[illegible]	[illegible]
コチ	[illegible]	[illegible]
コノシロ	[illegible]	[illegible]
キス	[illegible]	[illegible]
イワシ	[illegible]	[illegible]
ムツ	[illegible]	[illegible]
アユ	[illegible]	[illegible]
サヨリ	[illegible]	[illegible]
マナカツオ	[illegible]	[illegible]
カナ頭	[illegible]	[illegible]
ホーボー	[illegible]	[illegible]
イイダコ	[illegible]	[illegible]
イカ	[illegible]	[illegible]
水イカ	[illegible]	[illegible]
イセエビ	[illegible]	[illegible]
車エビ	[illegible]	[illegible]
アナゴ	[illegible]	[illegible]
コエビ	[illegible]	[illegible]
貝柱	[illegible]	[illegible]
白魚	[illegible]	[illegible]
カニ	[illegible]	[illegible]
ナマコ	[illegible]	[illegible]
アワビ	[illegible]	[illegible]
カキ	[illegible]	[illegible]
ハマグリ	[illegible]	[illegible]
シジミ	[illegible]	[illegible]
アサリ	[illegible]	[illegible]
カマボコ	[illegible]	[illegible]
チクワ	[illegible]	[illegible]
マグロ切身	[illegible]	[illegible]
ニベ同	[illegible]	[illegible]
ブリ同	[illegible]	[illegible]
ヒラス同	[illegible]	[illegible]
サワラ	[illegible]	[illegible]
クヂラ	[illegible]	[illegible]

東邊道縱貫鐵道の期成理由(三)

安東 東邊道縱貫鐵道期成委員會

六、實現の可能性

(一)東邊道經濟概況

縣名	總面積	耕作面積	穀物生產高	人口
寬甸	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
桓仁	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
輯安	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
通化	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
柳河	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

本鐵道が貫通若くは隣接する地方一帶の諸縣は、大豆初め小豆、高粱、包米、粟、米等の產地にして、各縣の統計によれば其の年產額は合計四百餘萬石に達し此の中包米、高粱等の或る部分が土民の常食に供さるる以外は大豆、米、初め大部分は安東に搬出され鴨綠江の水運を利用して南下するものゝみにても年額一二〇萬石に達す。尙是等一般農作物の外に作蠶、人蔘、煙草麻、胡麻等の特用作物あり。作蠶は世界的商品として特に日滿關係に於て今後益々增產を奬勵すべきものにして、現在其の年產額は寬甸の一〇億萬粒を筆頭に、桓仁一億萬粒輯安一三〇萬粒を示せり。人蔘は靈藥として廣く東洋に於て珍重せられ東邊道奥地は滿洲に於ける其の主產地なるが通化、輯安、桓仁に於ける年產額合計は約三〇萬斤と稱せらる、次に特記すべきは鑛產なるが、東邊道中鴨綠江及渾江流域地方は古來一大鑛產地帶と目され埋藏量幾何なりや知るべからずと稱せられ、既に發見されて試掘或採掘されたる鑛區數、數百の多きに達し、今後精細なる調査を爲すに於ては尙幾多の鑛山が發見さるべしと想像さる。惜むらくは交通頗る不便にして匪賊の橫行甚だしく、爲に從來調査不可能の場合多く且つ一度鑛產物發見するも企業的に不成立を餘儀なくされ徒らに寶庫を死藏するの已なき狀態にありたり、其の產地は各縣に跨り、其の種類は、金、銀、銅、鐵、石炭、鉛、石綿、其の他各種に亙るものなるが、現在開掘中のものは石炭を主とし、中に四道溝炭の如き撫順炭に匹敵する良質のものも存す。

(二)鐵道營業に關する想定

(1)營業粁程

安東、寬甸間八三・八粁、寬甸、桓仁間一〇〇・六粁、桓仁通化間八〇・二粁、通化柳河間一〇〇・二粁、柳河海龍間四七・八粁

(2)貨物及旅客(單位キロトン)

縣名	農產物	雜貨	鑛產物	合計	旅客
寬甸	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
桓仁	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
輯安	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
通化	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
柳河	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
審海線	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

一、貨物 四八七、〇八〇
七四、五二三、二四〇純粁(平均輸送距離 一五三粁)
貨物運賃 一六、六〇八、三一三圓
二、旅客 四四八、五〇〇人
六一、四四四、五〇〇人粁(平均乘車距離 一三七粁)
旅客料金 一、五三六、一〇〇圓

1、農產物生產高に對する其の搬出餘力は現在の安東出廻數量の實際より見て各縣の最近生產統計の大體七〇%と看做し、此の中鐵道貫通する地方のものは搬出餘力の九〇%が今後鐵道を利用するものとせり(但し通過せざる輯安縣のみは四五%とす)審海線物の南下創合は同線出廻穀物の二〇%と見たり。

2、雜貨の想定は、審海、吉長、四洮等の實績より見て穀類輸送高の一〇%を見積りたり。

3、鑛產物は各所に產するも年生產高に關する正確なる統計を缺ぐを以て特に明細に判明せるもの丶みを揭げ他は計上せざることとせり

4、旅客人員の想定は吉長、吉敦、四洮線等の實績より見て鐵道貫通縣總人口の四〇%(但し貫通せざる輯安縣は一〇%)とす。

5、貨物の平均輸送距離及旅客の平均乘車距離は各地に付き其の位置を考慮して南北行の割合を想定して算定し平均せるものなり。

6、貨物運賃は一噸粁當三錢五厘、旅客の料金は一人粁當二錢五厘とせり。

(3)營業收支

營業收入 四、一四四、四一三圓
營業支出 二、二〇四、七六九圓
貨車收入 二、六〇八、三一三圓
旅客收入 一、五三六、一〇〇圓
差引利益 一、九三九、六四四圓

1、營業費の想定は審海線、吉海線、吉長吉敦線、四洮線に於る實績を標準とせり(一日一粁當平均營業費一四、六四圓とす)

2、以上の計算は固より極めて粗雜なる一片の推算に過ぎざるべきも概勢を推定するの資として參考迄に敢て記述せるのみ、若し幸にして此の想定を許さるるとせば、本鐵道は、營業粁程四一二、六粁にして貨物二六〇萬八千噸粁、乘客一五三萬六千人粁、營業收入四一四萬四千圓、利益一九三萬九千圓となる、而して右收入は營業一粁當一〇、〇四五圓、一日一粁當二七、五二圓の計算となる。

3、右に對し本鐵道の建設費幾何に上るやは實測の上ならでは固より確然たらざるも、諸種の事情を綜合して假りに總額三五、三四〇、〇〇〇圓(一粁當安東通化間一一萬圓、通化海龍間は六萬圓として)の概算推定を爲すとせば、之に對する右の利益步合は五、五%となる。而して山間地帶を通る安奉線の貨物が開設十數年にして四〇倍に增加せる實例より推して(固より之と同步調をとるべしとは見る能はざる事情あるも)未開地鐵道の資源誘發率が相當期待して可なるべきを想へば、將來に於ける本鐵道の成立可能性も亦自ら首肯するを得べきなり。

七、結語

要之滿洲國福要部分たる東邊道交通路の建設は資源の開發に國境の開拓に將又國防の上よりするも今日の情勢に於て極めて緊急必要事なること敢て論なしと信ず、而して東邊道の交通路としては、安東を起點とし東邊道を縱貫し審海線に結ぶ鐵道を敷設するを以て凡有觀點より最も有效的なるを確信すると共に、本鐵道が經濟的に見て亦實現の可能性あるを疑はず、吾人は時局の齎らしたる國境開發の急務より見て此の希望の速かに達成されんことを切望して已まざるなり(完)

北滿特別區廢止
一月一日より斷行
處置制定けふ公布さる

北滿特別區は曩に北滿鐵道の讓渡により殆んど其の沿革上の存續理由を失ひたるところにして滿洲國建國諸工作の進展に伴ひ地方行政の確立を圖り併せて國民經濟の發展に資する上に於て之が廢止は極めて緊要にして滿洲國政府は勅令第百六十二號を以て康德三年一月一日より之を斷行することゝなつた尙其の處置に關しては左の通り法令によつて制定二十八日公布された

北滿特別區の廢止處理に關する件

北滿特別區は之を廢止し其の區域は滿洲里市及海拉爾鄉の區域を除くの外主管部大臣の定むるところに依り之と接續する縣、旗及特別市の區域に之を編入す

附則

本法は康德三年一月一日より之を施行す

北滿特別區市鄉の處理に關する件

東省特別市鄉自治試辦章程は之を廢止す

市及鄉の保有する財產、營造物及權利義務は康德二年勅令第百六十二號に依り其の編入せらるる縣、旗及特別市に歸屬す

第二項の規定は滿洲里市及海拉爾鄉に付ては之を適用せず

附則

本法は康德三年一月一日より之を施行す

車捐、船捐、房地捐は接續地域に編入
廢止される特區內の諸租稅

北滿特別區に施行の車捐、船捐、房地捐は本來地方稅に屬する性質のものであつたが特區の特殊事情及隣接縣、旗に於ける地方稅課稅權衡を考慮し本年六月特區施行の租稅整理に於て之が廢止を保留されてゐたが特別區の廢止と共に接續の縣、旗及特別市の區域に編入することゝなり當該縣旗及特別市に於ては其地域にも新に地方稅を賦課することとなつた、なほ特區內に賦課された左の租稅は廢止されることゝなつた

一、電船捐、二、木船捐、三、人力車捐、四、汽車捐、五、脚踏汽車捐、六、馬車捐、七、大板地列車捐、八、美力幹車捐、九、營業大車捐、一〇、房地捐

然して右は康德三年一月一日より之を施行し、右に揭げた租稅にして本法施行前賦課すべかりしものに付ては仍從前の例に依ることになつた

滿洲里、海拉爾の市政管理處官制

北滿特別區の廢止に伴ひ次の通り滿洲里及海拉爾市政管理處官制が制定された

滿洲里及海拉爾市政管理處官制

第一條　滿洲里市及海拉爾鄉に市政管理處を置く

第二條　市政管理處を通して左の職員を置く

處長　二人　薦任
事務官　一人　薦任
屬官　三人　委任

第三條　前條に揭くる職員の各市政管理處の定員は民政部大臣之を定む

第四條　處長は省長の指揮監督を承け法令を執行し管內の行政事務を管理す

第五條　處長は所部の官吏を指揮監督し其の進退賞罰に關しては之を省長に具狀す

第六條　處長は管內の行政事務に關し其の職權又は特別の委任に依り處令を發することを得

第七條　處長事故あるときは事務官又は上席の屬官其の職務を代理す

第八條　事務官は上司の命を承け事務を掌る

第九條　屬官は上司の指揮を承け事務に從事す

第十條　市政管理處の事務の分掌に付ては省長の認可を經て處長之を定む

附則

本令は康德三年一月一日より之を施行す

興安各省公署官制改正

興安各省公署官制中改正の件は二十八日附をもつて左の通り公布された

興安各省公署官制中左の通改正す

一、第六條第一項中「旗長及縣長」を「旗長」「縣長市政管理處長、警察廳長及警察署長」に、同條第二項及第八條中「旗長又は縣長」を「旗長、縣長、市政管理處長、警察廳長又は警察署長」に改む

二、別表興安北省の項區域の欄中「額爾克納左翼及額爾克納右翼各旗の區域」を「額爾克納左翼、額爾克納右翼各旗及滿洲里市並海拉爾鄉の區域」に改む

附則

本令は康德三年一月一日より之を施行す

滿洲里と海拉爾に警察廳設置

北滿特別區解消に伴ひ滿洲里及海拉爾に警察廳の設置を必要とし尙警察廳定員には新設警察廳定員と鴨渾兩江水上警察局を改組し安東警察廳の下に安東水上警察署を置くを以て其の定員を掲上する必要がある爲である

特區廢止後の法院の管轄區域
從前通り

北滿特別區に於ける法院の管轄區域は北滿特別區の廢止後と雖仍從前の例に依ることになり、康德三年一月一日より之を施行することになつた

東滿

吉林卸賣市場開設案
明春まで持越し
當局と營業者の見解相距り
實現の目安立たず

【吉林支局發】當地に卸賣市場を開設するの件に就ては幾度かの會合を重ねて研究が續けられ最後の實業廳案によつて年內にも具體的決定を見るものかと期待されてゐたが、此程の委員會席上にて當業者側より「市場設立には贊成なるも該案には尙研究の餘地あり」との異論が起り更に一段の檢討を要することゝなつて問題は明春に持越された

即ち今次の案は曩に滿鐵及び關東廳によつて行はれた基礎調査を根據としたものであるが該案にては營業圈內に於ける一ヶ年の消化力を約百萬圓とし其內上場金額を七、八十萬圓と見積もつてゐるが當業者側の見解は基礎調査に於ける商品單價が過大に失して居り從つて實際の市場取扱高は三、四十圓を出でまいと云ふに在り、之に伴ふて實業廳案にては市場手數料として七八萬を擧げ居れるも當業者側では三、四萬圓のものと見て居る

一方市場經營費は兩者とも七八萬圓を下らざるべしと見込んで居るので結局採算不可能と云ふ結論に達する嫌ひあり此點を十分に打開したる上ならでは實現の目安は立ち難く來春に入りて更に根本的に調査を行ひたる上にて新規に試案を立つるの外なかるべき模樣である

討匪狀況
尾高部隊管下

【吉林發國通】廿六日尾高部隊司令部着管下討匪狀況左の如し

△額穆索北方地區掃蕩中の德本部隊は廿一日より廿五日に亙り頭道河子北方附近を掃討中、前後五回に亙り匪團と遭遇、各々徹底的打擊を與へて擊退したが本討伐に於る敵の遺棄死體二十、小銃、拳銃四、彈藥二百發を鹵獲し、匪團の剿窟廿四兵舍四を燒却した

△後藤部隊は北大營(額穆索北方約十二キロ)一帶の討伐に任じ、數回に亙り匪團と遭遇廿五日午後六時よりの戰鬪には敵は死體三を遺棄敗走した、本討伐に於て匪賊の多眠剿窟十八を燒却し又

△松井部隊の大和田特務曹長以下〇〇名は廿五日午後六時窑常站南方十キロ附近に於て串山好匪約八十と遭遇交戰時餘にして之を擊退した、敵の損害不明

中山警部着任

【吉林支局發】綏芬河より當地總館事務警察署長に榮轉を命ぜられし中山警部は出發間際に感冒に罹り靜養中なりしも處漸く快癒しハルビン新京を經て二十五日午後一時十四分着列車にて官民多數の出迎へを受けて着任した、一方病臥中の前署長田中警視は昨今稍快方に向つてゐるので新任署長に事務引繼ぎをなしたる上來る三十一日午前八時三十八分發列車にて歸東の途に就かるゝ筈

南滿

冬の味覺"蜜柑"
昨年に比し一圓安
豐作の爲相場下落

【大連支社發】舌に躍る甘酢つぱい新春の味覺「蜜柑」今年は昨年に比して安相場だと言はれてゐる、昨年十二月中大連港に陸揚げされたものは二十三萬三千個を突破してゐるが今年は現在十七、八萬個程で三十一日までに二十萬個の陸揚げは困難とみられてゐるが、それは今年の豐作の結果相場の下落で內地側發送手控へ、或は取入れに忙殺されて發送まで手が廻りかねてゐるものといはれてゐる大連中央卸市場に上場されるものは約三萬個內外で後の十七、八萬個は全部奧地市場向けのものであるが今年の相場は豐作が利きすぎて伊豫蜜柑の特上四圓七十錢、普通上等で二圓七八十錢、紀州蜜柑で二圓から二圓七十錢程度昨年に比し約一圓見當の安値だと見られてゐる

第一一九號告示

昭和十一年一月一日午前九時四十五分ヨリ同十時四十五分迄當館構內參事官官邸ニ於テ拜賀式ヲ擧行ス

右告示ス

昭和十年十二月二十六日

在新京 總領事 川村博

第一二〇號告示

來ル三十日ヨリ昭和十一年一月三日迄休廳ス

昭和十年十二月二十七日

在新京 總領事 川村博

家庭

床の間には 何を飾りませう?

◇…お正月のお支度は、あまり押しつまらぬうちに心掛けて大晦日にはもうきちんと出來上つてしまはなければ困ります。床には何を飾つたらいいでせう。床の間には何を飾つたらいいでせう。床には鶴とか日の出とかお目出度い掛軸をかけて、正面には鏡餅を飾り下座には活花を活け、上座には三寶にのしを置きます。これが本格的の正月の床の飾り方ですけれど、昨今ではのしを略して鏡と花とだけですますのが大衆的な飾り方になつてきました。で、この時の花もお正月には、何とかおもとか一種類か松竹梅を各流の活花として活けるのが正しいので、殊にのし飾つた場合には心ずしも生花でなければならないのでして、略式の盛花や投入れはいみ嫌ひます。

◇…しかし、この頃のやうに床の間にのしがなくて鏡餅ばかりのときには、投入れでも盛花でもかまひません。次に花を活けるときの注意としては、松はどういふのを生けたらいいかといひますと、どんなのでもかまひません。女松でも五葉の松でも何でもいいのです。それ／＼その材料にふさはしく扱へばいいことになつてゐます。

◇…おもとは一つでなくなるべく二株の實を用ひます。それから松竹梅を活けるときには竹を眞にしてはけいません。松か梅を高く使ふやうにいたします。

◇…花器は本格の生花の時は各流特有のを用ひること、申すまでもございませんが、投入や盛花の場合には、いくら自由だからといつても、船や月などの吊りものはお正月には避けたいと思ひます。

◇…次に、略式の投入や盛花にはどういふ花を使つたらいいかと云ひますとお正月の花として普通用ひられるのは、千兩、萬兩水仙、福壽草、薬牡丹、藪柑子、實のついた南天臘梅、雲梅、雪割草、梅など、この他に盛花には西洋花を賑やかに取入れますが、投入には西洋花は用ひません。何故かといふと華麗はどう投入しても時有の雅趣を害つて了ふからです。

seiri

お正月の家庭に なくてはならない 食料品

お正月に缺くことの出來ない食料品の買ひ方を各家庭の主婦心得帖の一つとしてお報らせいたしませう

見分け方と買ふ時の注意

新巻

はお正月になくてはならぬ恒例のものです。これには根室、エトロフ、北見と三種類あります。エトロフ北見はにぶい銀色を持つた見た目には大變美しいのですが味の點では根室がすぐれてゐるやうです。御買ひ求めの節に産地を尋ねて味を御見比べになるのも無駄な吟味ではないでせう、見分け方の秘訣は鮭の腹を開けて見ることです淡紅色の美しい肉色をした新鮮の感じのものが最もよいので、これが古くなると油がそこにたまつてきて油燒と鹽燒で色か黒ずんでくすんで來ます。そして匂ひを嗅ぎますと魚臭以外に強い惡臭を持つて居ります。また腹の邊を指で押して見て、柔かい彈力的な感じのものが食べて最上のもので、堅くて指跡のつかないものは押された下積みの不良品でありますから、この腹の中の色と匂ひと腰の柔かさが大功な見分け方の要點であります。よく皮膚の表面に赤い線が數條滲み出てゐるものがありますが、これは肉の色素が出たものでかうしたものは中の肉か薄くて不味です。新巻でなく、カムチヤッカで取れる冷凍鮭があります。値段は少々安いようですが、それだけ味も新巻に劣ること數段です。この見分け方も前者同様色と匂ひが大切です。

數の子

昔は乾したものを使ひましたが昨今は即席と味を主とする爲に鹽數の子が歡迎されます。これは、鰊から取つた數の子をすぐ食鹽水に漬けて保存したもので、家庭でもこれを保存するには鹽水に漬けておくことで、料理するときは米のとぎ汁に一晝夜位ゐ漬けて鹽出しするか、即席なら水をジヤブ／＼三時間ぐらゐ注ぐことです。優良品は形が楕型に整つてゐて折れたり缺けたりしてゐないもので色は白黄色で、惡臭のないものです。粗悪品は型が全くくづれてゐて、色も赤く惡臭をもつてをりますから、注意さへすれば誰にでも判ります。干數の子も上物は形の缺けたものは少くて、色もベッコウ色に冴えて居りますが、不良品は色も赤く黒く濃くて中には一つの品で種々色變りのものがありますから見分けるのは容易です。

きんとん

は大抵作つたものをお求めになるのが却つて經濟であり、手數もかゝりませんから喜ばれますが、これは練るほど艶が出るもので金色の艶が柔かく出てゐてざらつかないものをお求め下さい。黄色すぎたり、靑すぎたりしたものはいけません

蓮根

は一番太い節が最も若いので從つて若い所ほど香りも軟かさも一番ですまた皮を剝いで白く水色に透明な感じのするものがよいのです。

人參

は神戸近傍のものが最上品でありますが、あまり太くなく、形がすんなりとして、肌が細かく、透明な赤味のあるのが良品です。

大根

も皮が眞白くきめの細かいもので、全體に太く肥えたものがよいのです。のあるないは割つて見ない限り外からは見分けられません

お料理獻立

潮餅(鍋物)

お餅を入れた鍋物は冬の寒い夜にあたゝかでよいものでございますおためし下さいませ

【材料】(五人前)

鷄肉五十匁、小蕪二把、蒲鉾半枚、椎茸十五ケ、靑味芹又は三葉少々、お餅適宜酒、鹽、調味料少々づゝ、

鷄肉はそぎ切り、小蕪は二ツ切り椎茸はもどし、靑味を一寸三分位蒲鉾は銀杏切りとし盛り合せ、お鍋にお湯か煮出汁を煮立て、蕪を入れ軟かくなつたら他の材料を入れ味をつけて煮ながら食べます。

初春の高島田

身體の弱い方は およしなさい

暮から新年にかけて、平常おさげや、簡單な洋髪にばかり結つてゐるお孃さんの日本髪にあげる方がかなり多いやうです、かはいらしい桃割れや初々しい島田の姿に兩親をはじめ心をひかれない人はありませんがさて衛生上から見た時はどうでせう。

日本髪にあげるとあたまがいたい、首がつかれる、といふことはよく聞くことです、しかし年中結つてゐれば自然それに堪えられるだけの抵抗力がつくので、別に惡い影響といふやうなこともありません。しかしふだん自由な洋髪にばかりして急に重いいくつものかもじを入れ、すき毛を入れてすつかり油でかためた島田で結ふとしたら、ぢつとしてゐて首から上の筋肉を非常に疲勞させます。

◇………◇

その上日本髪の性質として活潑な動作は一切出來ず、ちよつと横を向くのにも後を見るのにも、首はちやんと固定させておいて、からだ全體を動かすといふことになりますそしてタボがうしろの衿でくしやくしやにならないやう、いつも前かがみになつてゐるといふことは、しせいを惡くし胸部をあつぱくします。又あたまについた油や結ひ方の複雜さは、あたまの毛皮をふさぐのでどうしてもさはやかな氣分でなくなる。

◇………◇

一つ／＼あげたらきりはありませんが、つまりさうした非活動的の髪そのものが、日本婦人をしとやかにつくりあげたともいはれてゐるのですから。…しかしさうした髪にあげてあたまがいたいといひ肩がこるといひながら、夜も枕の上にそつと頭をのせたきり安眠も出來ずにゐるお孃さんを見るのはむしろ悲慘です

◇………◇

それも平常丈夫なからだなら新年前後の十日か二週間のこと、さう云つてゐる間に過ぎてもしまひませうが、少し弱いやうなお孃さんたちは、肩かこる、首がいたい、睡眠不足さうしたことが部分的のただそれだけのことで濟んだら幸ひで、當然胸の方への影響も考へられなくてはなりますまい。

◇………◇

なほさうした人々は髪のために衣紋をさげて衿まはりをさげてゐるといふことから風邪を引きやすいです。

けふの番組

(JQAK 新京放送局) 廿八日(土曜)

◎朝◎

六、三〇 建國體操(滿語)
六、五一 ラヂオ體操(東京)
七、一〇 入港船の御知らせ(大連)
八、一〇 氣象通報(大連)
八、三〇 朝の音樂(大連)
九、〇〇 經濟市況(東京)
九、〇〇 早晨演奏
九、四〇 經濟市況(大連)
一〇、〇〇 家庭講座 新年の飾り付け
一〇、二五 家庭メモ 赤塚久子
一〇、三五 經濟市況(大連)
一〇、四〇 經濟市況(東京)
一〇、五九 時報(東京)
一一、四〇 ニュース(東京、引續き新京)
〇、〇一 經濟市況(大連、引續き新京)
〇、二〇 晝の演藝(レコード)
一、スキーは招く
二、スケータ・ワルツ 藤山一郎
三、籠屋と娘(レヴュー) 小林千代子
四、僕は朗らか 德山たまき
五、リズム・かつぽれ 中野忠晴

◎晝◎

〇、四〇 建國體操(滿語)
一、〇〇 白天演藝(奉天)
清唱
一、烏盆計
二、戰太平
三、珠簾寨
唱 王顯名
外場面 三…
一、二〇 ニュース(滿語)
二、〇〇 經濟市況(大連)
二、二〇 成人講座(滿語)(奉天)
康德二年之回顧
奉天市長 王慶璋
二、四〇 下午演奏(東京)
二、五〇 經濟市況(東京)
三、〇〇 ニュース(大連)
三、三〇 經濟市況(大連)
三、五〇 ニュース(鮮語)
四、三〇 ニュース(鮮語)
引續き 演藝(英語)
四、五〇 ニュース(英語)
五、〇〇 子供の時間(大阪)
童話劇 街の小英雄
村野直吉作 にはとり園
五、二〇 コドモの新聞
五、二五 氣象通報 番組豫告

◎夜◎

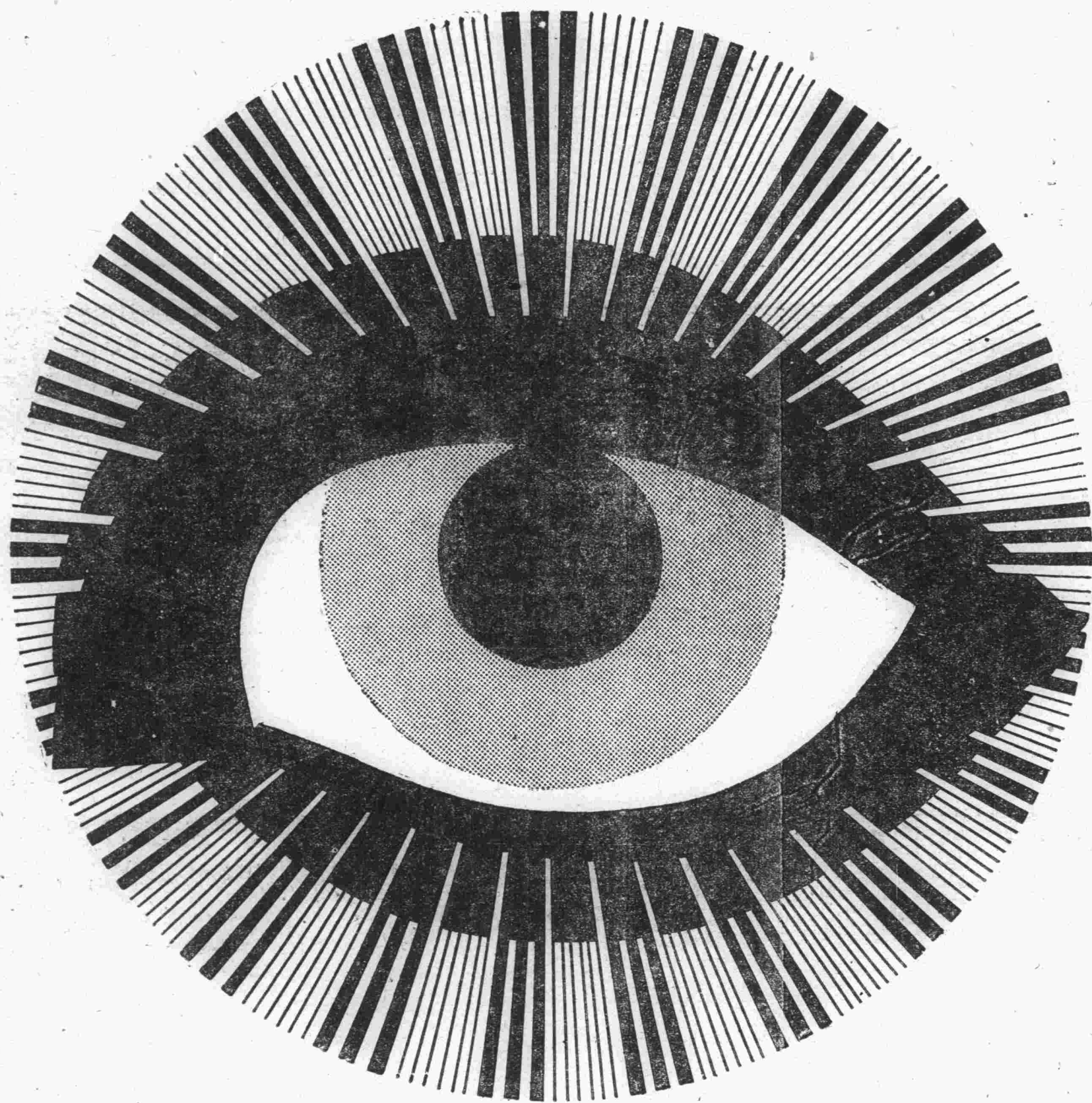
六、〇〇 ニュース(東京)
六、二〇 今晩の番組 官廳公示
十二月二十八日
六、二五 政府公報(滿語)
六、三〇 國民の時間
康德三年度の豫算に就て
國務院總務廳主計處長 古海忠之
七、〇〇 小唄(東京)
(一)
小唄 堀小富美
三味線 堀小ふじ
1お前と一生、2雪のあした、3比翼塚、4涙かくして、5年の瀬
(二)
小唄 堀小ふじ
三味線 堀小良久
1初雪、2島かげ、3むらがらす、4四年に一度
七、一〇 連續ラヂオ小說
歌行燈(三) 泉鏡花原作
八、〇〇 時事解説 喜多村緑郎
八、三〇 時報ニュース(東京) 佐藤忠雄
引續き ニュース
八、四五 ニュース、氣象通報 經濟市況、番組豫告(滿語)
九、〇〇 舊劇(奉天)
連環套 審水名票
一〇、〇〇 北滿の時間(露語)(哈爾濱)

サア、モウ コレデ 安心ダワ
ウム、一ツ窓ノ 外ノ景色デモ 眺メヤウカ
這ニ目ガ煤 入ルト イケ ナイワヨ
大丈夫！旅行 デハ古強者ダ！
ナナンダッテ？

© 1926, by King Features Syndicate, Inc.

眼は解剖學上腦の一部だ！
眼の障害は忽ち腦に反映する

眼を愛護せよ　視力を增せ
健康な瞳こそ幸福の母胎だ！

疲れた眼に病める眼に休息と榮養を與へよ！

□眼と腦の關係□

解剖學上眼は腦の一部と見做されて居ります。從つて眼の障害は直ちに腦に影響を及ぼし、腦力の低下、神經系統の異常を招來します。即ち眼と腦は宛も車の兩輪の如く密接な關係があります。それ故眼の健康を增進することは、頭腦を明澄にし、生活能力を擴大强化する所以であります。

□近代生活と眼□

しかも華かな近代生活は一面に於て怖るべき眼の酷使を强要します。過酷な讀書、堆積する事務、不潔な室内の空氣、雜踏する市街渦卷く砂塵と煤煙。それはいやが上にも眼を疲勞、混濁せしめ、視力を衰へさせます。一朝眼の衞生を怠れば、忽ち不快な眼疾に冒されて生活的に敗殘の憂き目を見なければなりません。

□罹り易い眼疾□

眼の酷使、塵埃、强烈な光線が原因となる眼疾の裡最も多いものは加答兒性結膜炎（はやり眼、やに眼、ち眼、はれ眼）と角膜炎（星眼、霞み目、たゞれ目）であり、又劇務、讀書等からは例外なく眼精疲勞の傾向を持つに到ります。そして眼が充血したり、ゴロゴロしたり、眼脂が澤山出たり、視力が減退して、遂には腦の働き迄も減殺されます。

□正しい眼科藥□

從つて吾々は眼疾と否とに關らず、常に眼の衞生と保護に注意し、眼疾を豫防すると共に、進んで視力の强化を圖らねばなりません。スマイルは眼科藥として最新の處方と內容を具備し、殺菌、防腐、收斂、健眼の各作用に優れ、一劑よく眼疾の治療と豫防に奏効し眼の疲勞充血を去り、且瞳の明朗化に快適な効果を齎らします。副作用や習慣性を起す古い眼科藥とは自ら選を異にして居ります。安んじて御愛用下さい！

容器の優秀性

精巧微妙なる藥液の性質を至純に保ち變質を防ぐ爲瓶に特製硬質ガラスを用ひ口栓はグッタペルカを使用！

その科學的完全性に加ふるに新式自働點眼裝置の至便さとスマートな形體美を具備す！

眼を活かし・眼を護る・高級眼科藥

スマイル

◇二十五錢　◇四十五錢　◇一圓

全國藥店百貨店藥品部にあり

總代理店　玉置合名會社

東京市日本橋區本町
大阪市東區瓦町三

工賃の不拂ひから 歳晩に泣く人々
脇阪ビル工事主、内地へ逃亡
請負人細君は狂人同樣の慘

毎年土工の切上げ時期には

工賃の不拂 其他で警察沙汰になる事件が多々あるが、これは又工賃を支拂はぬため請負人の妻君は發狂し工事使用人は歳の瀬を目睫に控へ工賃の仕拂なきため路頭に迷ふといふ悲慘事を惹起し、遂に警察に持ち出された事件がある、市内曙町三丁目一番地脇坂ビル脇坂源太郎は昌平街一〇一金融業福永高介、宮越某の三名共同にて同ビルを七萬餘圓にて大和通六十八坂田正二に請負はせ、工事竣工したが、脇坂は請負金の金額を支拂はず未拂約

四千餘圓を 殘したまゝビル建築に一萬六千餘圓を出資した宮越某に肩がはりし、假登記を濟ますとすぐ内地に姿を晦ましてしまつた、一方坂田正二は請負金の支拂を矢の如く催促するが、何日に支拂ふといつては逃げ支拂ひを延引し、これがため工事に從事した佐々木莊司、長谷川大吉、平澤三太郎、山下平次郎、橋爪重吉の諸氏は工賃の支拂がなくては瀬が越せぬと坂田に迫るので、坂田氏の妻君は遂に心配からヒステリーが昂じて狂人同樣になるといふ仕末で、二十七日坂田氏を始め

工事從事員 は新京署保安係を訪れ何とか解決してもらひたいと願ひ出たので、同係では福永、宮越の兩名とこの問題に關係せる小西辯護士らの出頭を求め種々協定したが施工者の方ではあまりに非道なる工事主の仕打ちに氣おひ立ち、會見三時間餘に及んだが解決に到らず、保安では同問題から手を引くに到り事件は司法に廻付される模樣である

病夫を養はんとて 身賣りの願ひ出
木内保安主任に諭され飜意

夫は病床に臥し乳呑兒を抱へて最早や金にかへる何物となくなつたが、他人から

救濟 されるのが面目なさに紅燈の巷に身を沈め、夫の藥代にかへ且つ子供を養育せんと悲壯な決意のもとに二十七日酌婦稼業を新京署保安係に願ひ出たが、涙もろい木内保安主任に懇々とさとされ翻意して引下つた女性がある—市内富士町五丁目居住近藤花子さん(假名卅一)の夫近藤幸夫氏(假名)はもと某會社につとめてゐたが病身のため會社を馘首され、以來花子さんは家財道具を一つ賣り二つ賣り、或は着物を入質して夫の藥代にかへてゐたが、其間いろ〱他人から面倒を見てやらうといふ話もあつたが、夫はビタ一文でも他人から惠まれることをこゝろよしとせぬので、花子さんは無理を重ね今日では最早や金になる何物もなくなつたので

女中 或は仲居奉公をせんと各方面に當つてみたが、何分にも乳呑兒があるので思ふやうに使つてくれる所はなく、子供を他に預けるとすれば一ヶ月十五圓もかゝるので、それでは少しの收入では何にもならないところより意を決し、二十七日新京署保安係を訪れ酌婦稼業を願ひ出たが、涙もろい木内保安主任は

懇々 と花子さんをさとし、酌婦稼業を斷念させ、救濟資金の中から惠んでやらうといふことになつたが花子さんは署の取計ひには感謝するが一應夫に相談の上御願ひするといふことで引下つた

少女の健氣さは 得難い教育資料
―本社の記事に一女性から―
野上薫さんへ同情

可憐な小學生の身で病床の兩親と幼い弟妹をかゝへて、毎日毎夜饅頭の露店を出しては苦しい生活をさゝへてゐる本紙廿七日附夕刊既報の哀れな一家—市内入船町三丁目三ノ三野上茂氏長女室町小學校高等科二年生薫さんに對し、二十七日市内七馬路市營アパート三〇三號關口鈴子さんから

昨夜御紙夕刊で饅頭を賣つて一家をさゝへてゐる健氣な少女の記事は子供に取つて大變教育になり、且ついろ〱お氣の毒に思ひますので些少ながらこの金を御社から本人へ屆けて上げて下さい

と情のこもつた手紙に現金三圓を同封して本社へ送つて來たので、本社では直ちに小澤編社委員へ同家に屆ける手續を執つた

星、西田兩少佐
赴任日取決定

新市街憲兵分隊長から公主嶺憲兵隊長專任となつた星少佐は二十九日午前九時三十分發また安東憲兵分隊長に轉任の前新京憲兵隊本部副官西田少佐は三十日午前七時發、いづれも赴任することになつた

放蕩店員
主家の貴金屬を入質し遊興

本籍鹿兒島縣揖宿郡揖宿町十町二二五〇四生れ市元内日本橋通り八十二中野常太郎氏方店員鶴田金藏(二九)は、昭和十年三月より同店に雇はれ中本年十月十二日午後八時頃、鐘箭の抽出より純金指輪二個とクローム製腕時計一個を竊取し、市内三笠町第七博多屋に、陸軍陸地測量部員と稱し入質しその金で遊興に耽つてゐたところを、二十六日午後七時頃新京署員に逮捕された

"關東軍へ重大報告後 記者團と會見"
北支情勢を語る土肥原少將

北支情勢視察中であつた土肥原奉天特務機關長は廿七日關東軍に於て重大報告を了へた後、午後三時四十五分より記者團に對し共同會見を行ひ席上左の如く語つた

去る十一月廿日の自治宣言に付き各新聞があまりに大々的に報導したるは事實を誤認した結果であらうが、當時は未だ裏面的に醞釀せられつゝあつたのである、冀察政務委員會の今後の動向は樂觀してもいゝ、最近に於る二、三の事實を綜合しても南京政權と手を切り全く獨自の立場に立つ可能性はあるが、民衆の自治要望に眞に應ずるや否やは全く今後の問題だ、民衆は自治を要望すること急であり委員會としても之に應ずべく努力してゐる有樣だ、最近日本人顧問を置くかの如く報導されてゐるが未だ不明である、學生運動は徹底的に取締つてゐるが彼地に於る諸新聞も之等學生運動は不純極るものとして攻撃してゐる

支那現狀視察の途 中野代議士入京
杉森、小島氏等一行十一名
各方面と意見交換へ

北支自治政權の樹立によつて日滿支の政治的經濟的關係に一大轉換が期待されてゐる矢先、三國の尖端的接觸面を視察し支那を再認識して新政治運動の第二歩を踏み出すべく中野正剛、小島精一、杉森孝次郎氏等一行十一名の支那視察團は廿七日午前九時着列車で丁實業部大臣、大橋外交部次長等多數關係者に迎へられ入京した、一行は直ちに大和ホテルに於て記者團と會見した後大和ホテル、名古屋ホテルに分宿したが、卅一日まで滯京關東軍首腦部並に滿洲國要人と會見の交換をなす筈で、一行の氏名は左の通りである

代議士中野正剛、早大教授杉森孝次郎、小島精一、代議士由谷義治、前代議士岡野龍一、九州日報主筆清水芳太郎、前拓務參與官松浦武雄、外務省囑託中山優、中野泰介、梨本祐淳、近藤一馬

"支那を再認識して 新政治運動へ"
縱橫の氣焰吐く中野正剛氏

來京の途にある支那視察團一行を四平街まで出迎へると展望車に集つた一行は中野正剛、小島精一、杉森孝次郎氏等を中心に滿洲問題、北支問題について激論を鬪はせ談論風發の勢で、流石に野人の集りだけはある、先づ先日國民同盟を脱黨し東方會を組織して非常時男の名乘りを擧げた中野正剛氏をつかまへて時局談を聽く、元氣一杯滿洲支那問題に關し次のやうな縱橫談をなした

日本 國民は世界無比の膨脹力を持つてゐるから、この力を壓へない限り四面の障壁を打破つて發展してゆくが、若し抑壓すればこの膨脹力は内部で爆發するだらう、それ故世界に對し日本の國情の止むを得ざる事情を認識せしめ情理のある膨脹力を外部に向け開放せしめなければならない出先と中央との間に意見の相違があると傳へられてゐるのは政府が積極的方針に出でないため國内の現狀打破的勢力と退嬰姑息な現狀維持勢力がバランスを失つてゐる爲である

政府 は根本方針なく出先に命令を徹底し得ないからである、それ故滿洲事變以來日本の對外關係は現場處分で發展して來たもので、現場で外の勢力と接觸してゐれば本國の命令なくとも焦眉の急に應じ、活動を續けて來たのである、これに對し國内勢力は只危いといふだけで國際關係に對し根本方針はない對支問題が現狀の儘一息入れてゐる姿であるのは南京政府と日本との外交々渉狀態にあるのではなく

極東 に働きかけてゐると日本との歴力のバランスの上に一時的平衡を保つてゐるといふべきだ「支那に對て歐米依存を止め日本に信頼せよ」といふのが日本の對支態度であるといはれてゐるが、そんな事は俺に惚れろといふ樣なもので信頼せねばならない、信頼せねば損をし危險であるといふ事實を全國民の呼吸、態度の上に又唯物的に現さねばならない、一方共産勢力の一掃には

北邊 の護りを强化し飛行機、タンクレ兵數においてロシアをして極東侵すべからずとあきらめさせる事が先決問題だ、

南方 においては最近英國が世界的支配力を恢復の意氣込みをみせて居り、その尖端がリースロスの借款となつて現れて來たがこれにたにらみ返す姿勢を採らねばならぬ有吉大使が百萬遍蔣介石に足を運んでもだめだ、端的にいへば軍縮會議を速に決裂せしめ建艦競爭を行はせることだ

海陸 の防備には重工業等を擴大して日滿支を原料と人材と能率の上に建設すべきである、主婦的經濟イデオロギーである高橋財政を揚棄し、非常時日本の國家經濟組織を確立して外交辭令を用ひず積極的態度を示せば支那における存來の外國勢は退却し支那は支那自身の立場で自由に日本と提携するだらう日本はその時に全支民衆を味方とすることになるのである、滿洲はこの時實力の中心である、大體の方針さへあれば中央は出先にまかせるべきである、自分は日滿支の先端的接觸面を一巡し支那を再認識して從來日本でやつてゐない政治運動の第一歩を踏み出す決意である

記者が「日本の政界は」と問へば

内閣はクラブの樣なものだ政府は北支は困つた、ロシアと戰爭すると危い、イギリスを向ふに廻すと難問題が發生するなどといつて一向に意見が無い、僕が歸國する頃には議會は解散してゐるだらう

と快笑した

三國經濟提携の動向を語る
小島精一氏

續いて統制經濟研究の權威小島精一氏に日滿支經濟ブロック結成の動向を問ふ、同氏は『日滿支の經濟段階は夫々異り三角的關係に規律されてゐる』と前提して

日本は東洋の指導的經濟國にして高度に工業化し滿洲支那は大體農業國であるからその意味において日滿北支經濟ブロックの結成は考へられる譯で、日本の資本と技術、滿洲の農産品、北支の棉花、石炭鐵等によるブロック經濟が可能であらう而し日本經濟界に於ては最近北支と限定せず支那全體として見直すべしとの意見が有力となりつゝある、インフレによつて行詰れる日本の現經濟段階は當分滿洲にも約二億圓の金は必要であらうし北支自體に巨額な投資は出來ない、むしろ北支の重壓によつて南京政府を轉向せしめ、全支との經濟提携を促進すべきであるとの意見が支配的となりつゝある樣に思はれる而して一部に於て支那の幣制を援助しろとの議論が擡頭し否定の爲の否定でなく、英國の方法が惡かつたら日本が積極的にこれを是正し、全支との依存關係を樹立すべしとの意向が出て來たことはその具體的現れではないだらうか、かゝる動向は現狀工作に影響する可能性があるから充分考慮すべきである

と語つた

對支道德論
早大教授杉森孝次郎氏の

早大教授として、社會評論家として知られてゐる日本論壇の異才杉森孝次郎氏は「對支道德論」を左の如く語つた

世界の現狀は國民主義對立時代であるが、歐洲では最近日本を目がけて再結束に移る姿勢が現れて來た即ち英國がロシアと策應しアメリカを誘導して歐洲大陸内の國民主義的對立を緩和する態度をとつてゐることはその第一の現れだ、日本も支那も不幸にして國民的對立を示してゐるがこれは日本の責任に於て完全な日支結合に導く必要がある、世界の國民主義的對立は歴史の必然的發展の一つの段階として人種主義の對立に移りつゝある、日支が結合しなければ支那における外國勢力の支配主義を擊退することは出來ない、日本の現在の對支態度は支那を愛し敬する根本的態度が充分でない、北支の者の言葉に「知仁勇三者天下之達德也」とあるが對支態度もこの三つが必要である、現に知と勇は比較的認められるが仁は幼稚であるから急速に補給しなければ知勇の反映である今までの努力が完全でも結果は不完全に終つてしまふ、解り切つた問題であるが、この點が一番大切であると信じてゐる

原田書記生
二十八日朝赴任

新京總領事館に在勤司法事務主任の外務書記生原田英雄氏は既報の通り吉林總領事館に榮轉二十八日午前十時二十分發列車で家族同伴赴任するので二十七日暇乞挨拶に來社

▲寄附 今回吉林總領事館に榮轉の書記生原田英夫氏は子息の八島校在學記念として二十七日同校父兄會へ金一封を寄附した

歳末の街の紳士! 惡德朦朧記者に注意(下)
―新京署岡田高等主任談―

挿話的の事例もあり更に尚は御參考までに彼等がどんな手段で橫行してゐるかに付いて最近あつた一二の事例を擧げて見ると

◇……◇

(一)内地に本社を有すると言ふ名も知れない○○雜誌社員Aが社業擴張の爲めに特派されたと稱して市内一流旅館に堂々と止宿し毎日市内大會社等を訪問し讀者の勸誘と擴張祝賀廣告の募集に當つてゐたが多くは彼特派員の雄辯に乘せられて或は廣告料を或は援助金を提供せられてその額千圓を超へてゐたが警察で怪しいと見て調査を始めると彼氏は風の如く何れにか逃晦してしまつたが内地に○○社の事情を照會して見た結果意外にも○○社なるものは一年以前に解散し責任社員某は目下某事件で服役中であることや右特派員Aは同事件に連座して不起訴となつてゐる者であることが判り至急各方面に手配して漸く北滿で逮捕した、だが結局特派員Aが放埒な生活した上に此の詐術を用ひて金を集めてゐたものと判明したのであるが相當の知名までが彼の雄辯を信じて彼の放埒生活を援助されたと言ふ

◇……◇

(二)東京に本社を置く××社と言へば經濟雜誌として權威あるものであるが之亦その擴張特派員と稱して自稱社員Bは新京に乘出し××ホテルに止宿して經濟雜誌社員らしくモーニング姿で連日銀行會社やその關係者を訪問してゐたが彼は訪問の都度内地財界巨頭より當地各種會社の支店出張所長宛の奉書がき紹介狀を提示してゐたので訪問を受けた側では本社重役の紹介狀とあつて一も二もなくこれを過信、夫々廣告料の名の下に援助されてゐたのであつたが偶々某社支店に於て紹介者の筆蹟を識る者があり事後であつたが怪しいと感じて同業他社支店に爲念照會して見ると××社員の來訪はあつたがそれは貴社重役の紹介ではなく當本社重役の事で更にその紹介狀を兩者持ち寄つて照校して見ると紹介人の名前こそ異つてゐても筆蹟は一分の相違もなく同一人の書なることが推定された——そして怪しいと言ふので屆出があり本人を旅館から捕へて來て訊いて見るが直接本人より發給した紹介狀であり怪しめば照會して見れば判ることだと大言を放つてゐる而も尚ほ十數通の紹介狀を持つてゐるので内地へ電報照會をして見ると「××社ニBナル社員ナシ又社員ヲ貴地方ニ派遣シアラス、○○外十四名ハBナル者ニ紹介狀ヲ發シタル事實ナシ」との回答が所轄警察署から到來したのでBを追及すると本籍氏名は僞名であり大詐欺師であることが判つたのである

◇……◇

右は單なる一二の事例であるが人格あり信用權威のある新聞雜誌社員と然らざる徒輩とは僅かな御注意によつてこれが凡そ判然するものであるが故に一般各位に於かれてもこれ等の訪問を受けられた際にこの點に御留意を願ひ少くとも此の國都新京から之等不快の存在である朦朧雜誌新聞社員の一掃を願ひ度く、折角警察でも努力してゐるので市民各位の御協力を願ふ次第であると同時に怪しげな斯る者の來訪を受けられた際は即刻最寄の派出所又は本署にお屆を願ひ斯る際こそどし〱警察を利用して頂き度いのである斯くすることによつて現代世相に言論をバックとして躍る惡輩を驅逐する許りでなく玉石混淆による正當なる斯業界の迷惑を倂せて一掃する結果を招來するものと信じてゐる尚ほ爲念之等の訪問を受けた場合に左の點に付いては特に御注意願ひ度い

(一)廣告や購讀をせんとする新聞雜誌は豫め目標を定めて置いて頂き

(二)目標外のものに對してはその信用狀態を一應調査して決定せられるを可とする

(三)面識なき者の來訪に當つては其の社との關係を質すこと(初對面の場合は單に名刺だけを信用せざること)

(四)紹介狀を漫然信用せざること

(五)金錢の多寡に係らず要求的非紳士的言動ある場合は警察に連絡せられること

(六)來訪者の止宿先は一般的に尋ね置かれるを可とする

愛と戰ひとれ

(百十五)

出鬪 (八)

福田正夫 (譯) / 武久書 (畫)

「いけません」

勝美はその兄をひきとめた。

「あとで後悔するわ」

「もうしてゐる」

俊一は彼女の手をはなしていふのだ。

「僕はな、僕はな――」

「なに？」

「またそれをくり返したくないのだ」

彼は前に立ちふさがつた勝美をするどくみつめた。

「たのむ、歸らせてくれ！」

「いや！」

「おれは怒るぞ」

荒い風だ！――彼は勝美をつきのけようとして、獣のやうに猛々しく、眉をゆがめたのである。蒼白い怒り――それは絶望から、彼を斷崖の下につきのめして、野性の血を湧き立たせてゐた。が、この時、扉の中から、すべつて來た影があつた。

「あー」

それは靜かに默といつていゝ。泣いて、ふるへる白い手をさしのべると、

「鵬さん――」

と驚いてふり向いた俊一の胸の中に、よろ／＼とのめり込んだのである。俊一は茫然としてそれを抱いた。

「どうしたんだ？」

彼には、わからないものがあつた。

「這入つて！」

珠江がさゝやいた。

「ほんとに……兄さん」

「うん」

「人が來るわよ」

「うん」

俊一は勝美におされるまゝになつた。――彼によろめく人をさゝへて、縁にでも追ひ込まれるやうに、彼はいつか病室の中に這入つてゐた。

勝美が扉をしめた。――

「…………」

鵬子の――珠江は俊一にすがつたまゝ、涙をこぼしてすゝり上げた。

「俊一さん！」

ベットに飛雄が坐つて眼を瞠んでゐた。

「なんだね」

俊一はいくらか落着いた。

「あなたはいけませんよ、性急で……」

「性急？」

「ものをすぐ決めたがるのは、性急です。あなたは御自分のことさへ考へずに、鵬さんの返事だけを求めたのでせう。……さうに違ひありませんよ」

「さう、さういへばさうかも知れない」

「それが、……鵬さんをためらはせたのです」

「な、なるほどねえ」

俊一はうなづいた。――

「さう、さうだつたかも知れない」

「戀愛は急いでもいゝんです。……けれど結婚は、結婚はよしますよ。けれど、あなたはすぐ結婚するつもりでせう」

「さうだつた！」

俊一はいつた。

「が、わかつたよ」

白い手が――彼の手をさぐつた。つよくそれを握り合はされた。そしてそつとはなれながら彼女は、ほゝえんでゐた。

「兄さん、私もいふ事があるわ」

勝美もほゝえんで、うれしさうにその兄をみつめた。